



Cisco Nexus 1010 ソフトウェア インストール / アップグレード ガイド リリース 4.2(1) SP1(4)

2012 年 2 月 19 日

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco Nexus 1010 ソフトウェア インストール/アップグレードガイド リリース 4.2(1) SP1(4)
© 2010-2012 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.

Copyright © 2010–2012, シスコシステムズ合同会社.

All rights reserved



CONTENTS

はじめに v

対象読者 v

参考資料 v

マニュアルの構成 vi

表記法 vi

関連資料 vii

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート viii

新機能および変更された機能に関する情報 ix

CHAPTER 1

概要 1-1

Cisco Nexus 1010 製品ファミリーについて 1-1

Cisco Integrated Management Controller 1-1

付属のソフトウェア 1-2

フロー チャート : Cisco Nexus 1010 製品ファミリーの設置と設定 1-2

その他の関連資料 1-5

CHAPTER 2

Cisco Nexus 1010 ソフトウェア インストール 2-1

ソフトウェア インストールについて 2-1

前提条件 2-2

注意事項および制約事項 2-2

CIMC および BIOS 情報 2-3

Cisco CIMC ソフトウェアのバージョンの確認 2-3

管理ソフトウェアについての情報の収集 2-6

管理者クレデンシャル 2-6

High Availability (HA; ハイ アベイラビリティ) 冗長ロール 2-6

HA 冗長ステート 2-7

Domain ID 2-7

ネットワーク アップリンク 2-8

VLAN 2-9

管理 VLAN 2-9

コントロール VLAN 2-9

プライマリ Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X の設定 2-10

セカンダリ Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X の設定 2-17

ネットワーク アップリンク設定の例 2-18

Cisco Nexus 1010 設定の確認 2-19

Cisco Nexus 1010 を使用する前に 2-21

Cisco Nexus 1010 の再インストール 2-21

 ソフトウェアの再インストールについて 2-22

 注意事項および制約事項 2-22

 ソフトウェアの再インストール 2-22

Cisco Nexus 1010 の交換 2-23

ソフトウェア インストールの機能の履歴 2-26

CHAPTER 3

Cisco Nexus 1010 ソフトウェア アップグレード 3-1

 In Service Software Upgrade について 3-1

 前提条件 3-1

 注意事項および制約事項 3-2

 ソフトウェア リリース 4.2(1)SP1(2) 以降からのアップグレード 3-3

 ソフトウェア リリース 4.0(4)SP1(1) からのアップグレード 3-5

 アップグレードの例 3-9

 ソフトウェア アップグレードの機能の履歴 3-17



はじめに

このマニュアルでは Cisco Nexus 1010 と Cisco Nexus 1010-X のインストールとアップグレード方法について説明しています。

ここでは、Cisco Nexus 1010 ソフトウェア インストール/アップグレード ガイド リリース 4.2(1) SP1(4) について説明します。内容は次のとおりです。

- 「対象読者」 (P.v)
- 「参考資料」 (P.v)
- 「マニュアルの構成」 (P.vi)
- 「表記法」 (P.vi)
- 「関連資料」 (P.vii)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.viii)

対象読者

このマニュアルの対象読者は、Cisco Nexus 1000V の知識と Cisco Nexus 1000V Virtual Supervisor Module (VSM) のインストール、アップグレード、および管理の経験があるネットワーク管理者です。

参考資料

次のマニュアルをお読みになることを推奨します。

- 『Cisco Nexus 1010 Management Software Release Notes, Release 4.2(1)SP1(4)』
- 『Cisco Nexus 1000V Software Installation and Upgrade Guide, Release 4.2(1)SV1(5.1)』
- 『Cisco VN-Link: Virtualization-Aware Networking』 ホワイトペーパー

マニュアルの構成

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

章およびタイトル	説明
第 1 章「概要」	Cisco Nexus 1010 の概要について説明します。
第 2 章「Cisco Nexus 1010 ソフトウェア インストール」	Cisco Nexus 1010 のインストール方法について説明します。
第 3 章「Cisco Nexus 1010 ソフトウェア アップグレード」	Cisco Nexus 1010 のアップグレード方法について説明します。

表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。



(注)

「注釈」を意味します。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。



ヒント

「問題解決に役立つ情報」です。

コマンドの説明では、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
太字	コマンドおよびキーワードは太字で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体で示しています。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
[x y z]	どれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。 string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。

出力例では、次の表記法を使用しています。

screen font	スイッチに表示される端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
boldface screen font	ユーザが入力しなければならない情報は、太字の screen フォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の screen フォントで示しています。
<>	パスワードなどの出力されない文字は、山カッコで囲んで示しています。

screen font	スイッチに表示される端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
[]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!、#	コードの先頭に感嘆符 (!) または番号記号 (#) がある場合は、コメント行であることを示します。

関連資料

この項では、Cisco Nexus 1000 とともに使用されるマニュアルの一覧を示します。これらのマニュアルは、Cisco.com の次に示す URL で入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps9902/tsd_products_support_series_home.html

一般情報

『Cisco Nexus 1000V Documentation Roadmap, Release 4.2(1)SV1(5.1)』

『Cisco Nexus 1000V Release Notes, Release 4.2(1)SV1(5.1)』

『Cisco Nexus 1000V Compatibility Information, Release 4.2(1)SV1(5.1)』

『Cisco Nexus 1010 Management Software Release Notes, Release 4.2(1)SP1(4)』

インストール & アップグレード

『Cisco Nexus 1000V Installation and Upgrade Guide, Release 4.2(1)SV1(5.1)』

『Cisco Nexus 1010 Virtual Services Appliance Hardware Installation Guide』

『Cisco Nexus 1010 Software Installation and Upgrade Guide, Release 4.2(1)SP1(4)』

コンフィギュレーション

『Cisco Nexus 1000V High Availability and Redundancy Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(5.1)』

『Cisco Nexus 1000V Interface Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(5.1)』

『Cisco Nexus 1000V Layer 2 Switching Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(5.1)』

『Cisco Nexus 1000V License Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(5.1)』

『Cisco Nexus 1000V Network Segmentation Manager Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(5.1)』

『Cisco Nexus 1000V Port Profile Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(5.1)』

『Cisco Nexus 1000V Quality of Service Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(5.1)』

『Cisco Nexus 1000V Security Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(5.1)』

『Cisco Nexus 1000V System Management Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(5.1)』

『Cisco Nexus 1000V VXLAN Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(5.1)』

『Cisco Nexus 1010 Software Configuration Guide, Release 4.2(1)SP1(4)』

プログラミング

『Cisco Nexus 1000V XML API User Guide, Release 4.2(1)SV1(5.1)』

リファレンス

『Cisco Nexus 1000V Command Reference, Release 4.2(1)SV1(5.1)』

『Cisco Nexus 1000V MIB Quick Reference』

『Cisco Nexus 1010 Command Reference, Release 4.2(1)SP1(4)』

トラブルシューティング & アラート

『Cisco Nexus 1000V Troubleshooting Guide, Release 4.2(1)SV1(5.1)』

『Cisco Nexus 1000V Password Recovery Guide』

『Cisco NX-OS System Messages Reference』

Virtual Security Gateway マニュアル

『Cisco Virtual Security Gateway for Nexus 1000V Series Switch』

Virtual Network Management Center

『Virtual Network Management Center』

ネットワーク解析モジュール マニュアル

『Cisco Prime Network Analysis Module Software Documentation Guide, 5.1』

『Cisco Prime Network Analysis Module (NAM) for Nexus 1010 Installation and Configuration Guide, 5.1』

『Cisco Prime Network Analysis Module Command Reference Guide 5.1』

『Cisco Prime Network Analysis Module Software 5.1 Release Notes』

『Cisco Prime Network Analysis Module Software 5.1 User Guide』

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『What's New in Cisco Product Documentation』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。



新機能および変更された機能に関する情報

ここでは、リリース別に、このマニュアル内の新しい情報と変更された情報、およびそれらの場所を示します。

機能	説明	変更されたりリリース	参照先
フレキシブル ネットワーク アップリンク	フレキシブル ネットワーク アップリンク タイプの指定ができるようになりました。	4.2(1)SP1(4)	第 2 章「Cisco Nexus 1010 ソフトウェア インストール」
Cisco Nexus 1010-X	1010-X の概要	4.2(1)SP1(3)	第 1 章「概要」
ソフトウェア アップグレード	Cisco Nexus 1010 のアップグレードができるようになりました。	4.2(1)SP1(2)	第 3 章「Cisco Nexus 1010 ソフトウェア アップグレード」
ソフトウェアの再インストール	Cisco Nexus 1010 ソフトウェアの再インストールができるようになりました。	4.2(1)SP1(2)	第 2 章「Cisco Nexus 1010 ソフトウェア インストール」



CHAPTER 1

概要

この章では、Cisco Nexus 1010 および Cisco Nexus 1010-X アプライアンスについて説明します。具体的な内容は次のとおりです。

- 「Cisco Nexus 1010 製品ファミリーについて」 (P.1-1)
- 「Cisco Integrated Management Controller」 (P.1-1)
- 「付属のソフトウェア」 (P.1-2)
- 「フローチャート：Cisco Nexus 1010 製品ファミリーの設置と設定」 (P.1-2)
- 「その他の関連資料」 (P.1-5)

Cisco Nexus 1010 製品ファミリーについて

Cisco Nexus 1010 製品ファミリーには Cisco Nexus 1010 と Cisco Nexus 1010-X があります。Cisco Nexus 1010 製品ファミリーはネットワークング アプライアンスで、Cisco Nexus 1010 の場合は最大 6 台の Cisco Nexus 1000V 仮想サービス ブレード (VSB)、Cisco Nexus 1010-X の場合は最大 10 台の VSB をホストできます。

Cisco Nexus 1010 製品ファミリーは、Cisco Nexus 1000V Virtual Supervisor Module (VSM)、Network Analysis Module (NAM)、Virtual Security Gateway (VSG)、および Data Center Network Management Module (DCNM) などの VSB をサポートします。Cisco Nexus 1010 と Cisco Nexus 1010-X には、VSM 対応の専用ハードウェアが用意されています。VMware 仮想マシンにホストされていた VSM を Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X アプライアンスでホストできるようになりました。これにより、VSM を標準的なシスコ スイッチと同様に設置および管理できます。Cisco Nexus 1010 製品ファミリーで管理されるサービス (VSM、VSG、DCNM または NAM) は、仮想サービス ブレード (VSB) と呼ばれます。

詳細については、『Cisco Nexus 1010 Software Configuration Guide, Release 4.2(1)SP1(4)』を参照してください。

Cisco Integrated Management Controller

Cisco Integrated Management Controller (CIMC) は、Cisco Nexus 1010 製品ファミリーに付属するソフトウェア インターフェイスです。CIMC を使用すると、デバイスが到達不能になった場合の Serial over LAN (SoL) アクセスとリモート管理を設定することができます。リモート管理の詳細については、『Cisco Nexus 1010 Software Configuration Guide, Release 4.2(1)SP1(4)』を参照してください。

Cisco Nexus 1010 製品ファミリを設置する際には、CIMC インターフェイスを設定するオプションがあります。Cisco Nexus 1010 製品ファミリの設置時に CIMC ソフトウェアを設定する方法については、『Cisco Nexus 1010 Virtual Services Appliance Hardware Installation Guide』を参照してください。

付属のソフトウェア

Cisco Nexus 1010 製品ファミリは、次のソフトウェアとともに出荷されます。

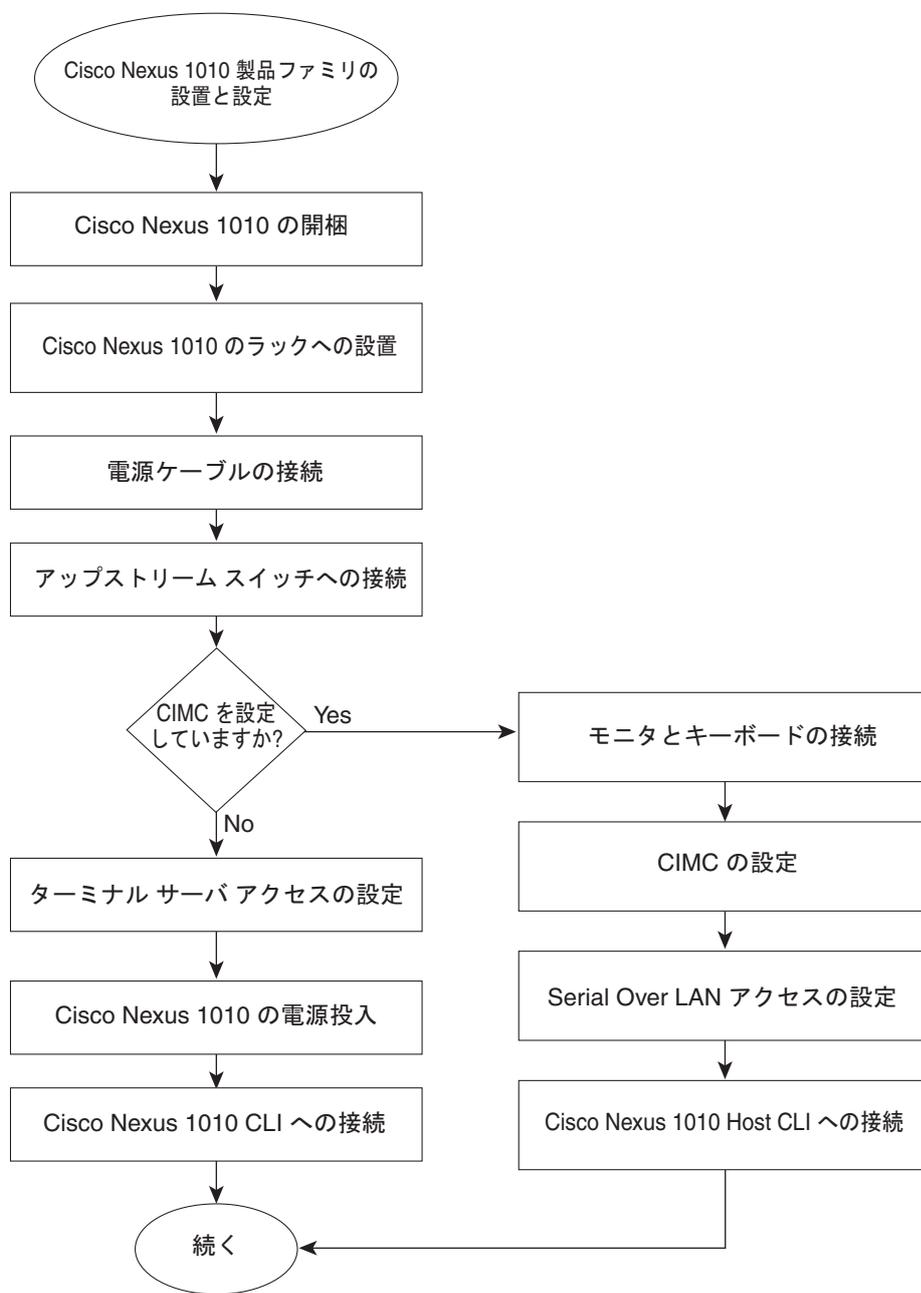
ソフトウェア	説明	ブートフラッシュ リポジトリ内の ISO ファイル名
Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X ISO イメージ	シェルおよび冗長グループ設定を管理する Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X Manager 仮想マシンのイメージ。	nexus-1010.4.2.1.SP1.4.iso ¹
Cisco Nexus 1000V VSM	Cisco Nexus 1010 製品ファミリで Cisco Nexus 1000V VSM 対応の VSB を作成するために使用されます	nexus-1000v.4.2.1.SV1.5.1.iso ²
Cisco NAM VSB	Cisco Nexus 1010 製品ファミリで Cisco NAM 対応の VSB を作成するために使用されます	nam-app-x86_64.5-1-2.iso ²
Cisco VSG VSB	Cisco Nexus 1010 製品ファミリで Cisco VSG 対応の VSB を作成するために使用されます。	nexus-1000v.VSG1.3.1.iso
Cisco DCMN VSB	Cisco Nexus 1010 製品ファミリで Cisco DCMN 対応の VSB を作成するために使用されます。	dcnm-installer-k9.5.2.2a.iso
Cisco Integrated Management Controller (CIMC)	Cisco Nexus 1010 が到達不能になったとしても、これを管理できるソフトウェア インターフェイス。	該当なし

1. Cisco Nexus 1010 でディスク破損が発生した場合は、CD から ISO イメージをコピーすることによりシステムを修復できます。
2. ブートフラッシュ内の VSB ISO ファイルを更新する必要がある場合は、`scp` コマンドを使用して新しいファイルバージョンをリポジトリフォルダにコピーします。

フローチャート : Cisco Nexus 1010 製品ファミリの設置と設定

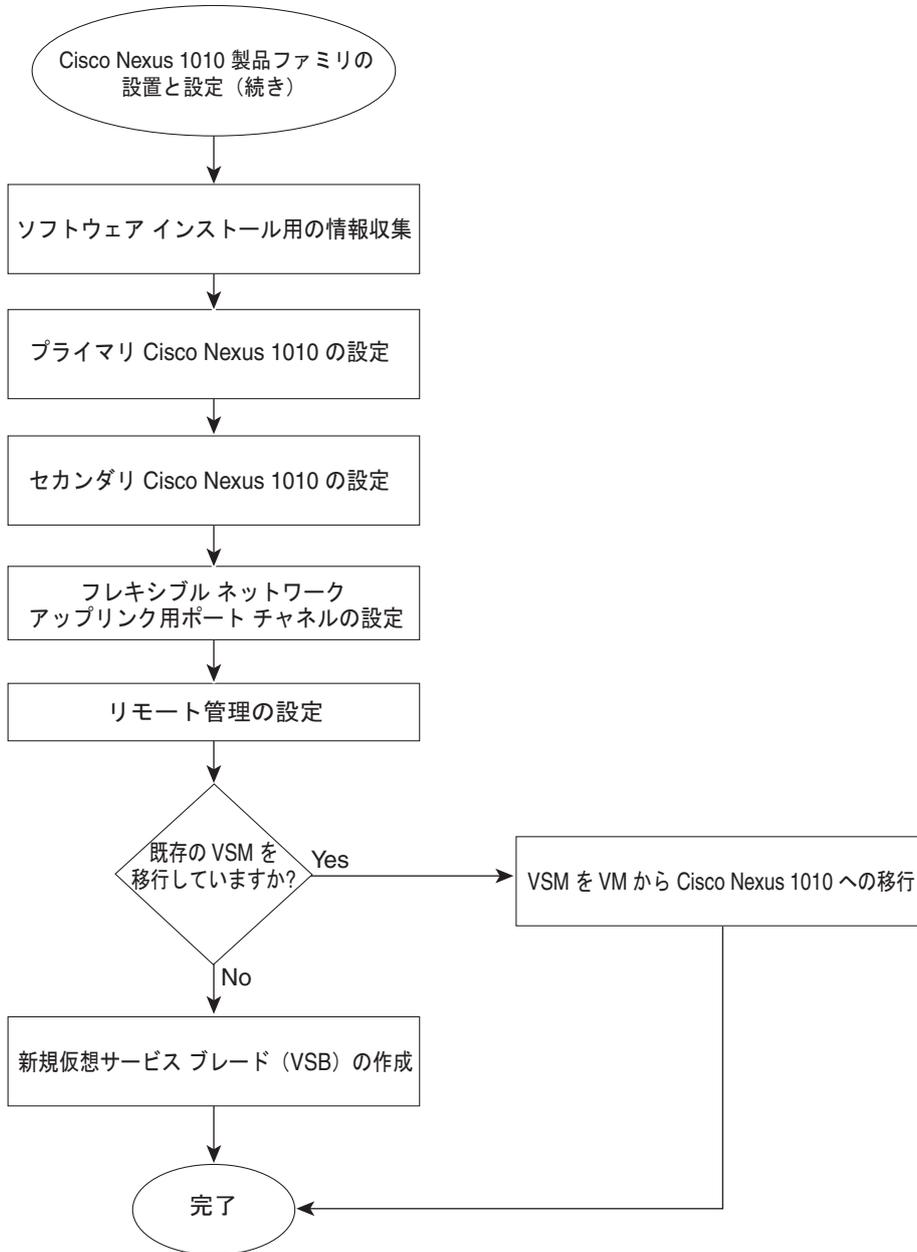
図 1-1 と 図 1-2 には、Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X の設置と設定の基本的な手順が示されています。Cisco Nexus 1010 ハードウェアまたは Cisco Nexus 1010-X ハードウェアの設置手順は、『Cisco Nexus 1010 Virtual Services Appliance Hardware Installation Guide』を参照してください。Cisco Nexus 1010 製品ファミリを設定する場合は、『Cisco Nexus 1010 Software Configuration Guide, Release 4.2(1)SP1(4)』を参照してください。

図 1-1 フローチャート : Cisco Nexus 1010 製品ファミリの設置と設定



282579

図 1-2 フローチャート : Cisco Nexus 1010 の設置と設定 (続き)



282580

その他の関連資料

関連項目	参照先
ハードウェアの設置	『Cisco Nexus 1010 Virtual Services Appliance Hardware Installation Guide』
Cisco Nexus 1010 ソフトウェアの設定	『Cisco Nexus 1010 Software Configuration Guide, Release 4.2(1)SP1(4)』
Cisco Nexus 1010 コマンド	『Cisco Nexus 1010 Command Reference, Release 4.2(1)SP1(4)』
CIMC 管理	『CIMC Firmware Management on UCS C-Series Servers』
配置	『Cisco Nexus 1010 Virtual Services Appliance Deployment Guide』



CHAPTER 2

Cisco Nexus 1010 ソフトウェア インストール

この章では、Cisco Nexus 1010 ソフトウェアと Cisco Nexus 1010-X ソフトウェアのインストール（あるいは再インストール）方法について説明します。内容は次のとおりです。

- 「ソフトウェア インストールについて」 (P.2-1)
- 「前提条件」 (P.2-2)
- 「注意事項および制約事項」 (P.2-2)
- 「CIMC および BIOS 情報」 (P.2-3)
- 「管理ソフトウェアについての情報の収集」 (P.2-6)
- 「プライマリ Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X の設定」 (P.2-10)
- 「セカンダリ Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X の設定」 (P.2-17)
- 「ネットワーク アップリンク設定の例」 (P.2-18)
- 「Cisco Nexus 1010 設定の確認」 (P.2-19)
- 「Cisco Nexus 1010 を使用する前に」 (P.2-21)
- 「Cisco Nexus 1010 の再インストール」 (P.2-21)
- 「Cisco Nexus 1010 の交換」 (P.2-23)
- 「ソフトウェア インストールの機能の履歴」 (P.2-26)



(注) VSB 上の Cisco Nexus 1000V ソフトウェアのアップグレードについては、『*Cisco Nexus 1000V Software Installation and Upgrade Guide, Release 4.2(1)SV1(5.1)*』を参照してください。

Cisco Nexus 1010 製品ファミリの概要と、インストール後のソフトウェアの設定手順については、『*Cisco Nexus 1010 Software Configuration Guide, Release 4.2(1)SP1(4)*』を参照してください。

ソフトウェア インストールについて

Cisco Nexus 1010 ソフトウェアと Cisco Nexus 1010-X ソフトウェアは、ISO イメージとしてあらかじめインストールされています。以下の手順を使用して、Cisco Nexus 1010 ソフトウェアまたは Cisco Nexus 1010-X ソフトウェアをインストールします。インストールは以下の手順で行います。

- ステップ 1** 正しいバージョンの Cisco Integrated Management Controller (CIMC) ソフトウェアがインストールされていることを確認します。「[CIMC および BIOS 情報](#)」(P.2-3)を参照してください。

- ステップ 2** 管理ソフトウェアについての情報を収集します。「[管理ソフトウェアについての情報の収集](#)」(P.2-6)を参照してください。
- ステップ 3** プライマリ Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X を設定します。「[プライマリ Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X の設定](#)」(P.2-10)を参照してください。
- ステップ 4** セカンダリ Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X を設定します。「[セカンダリ Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X の設定](#)」(P.2-17)を参照してください。

前提条件

Cisco Nexus 1010 Release 4.2(1)SP1(4) のインストールを開始する前に、次のことを確認または実行する必要があります。

- 最新のファームウェア 1.4(3) 以降を搭載していること。詳細については、「[CIMC および BIOS 情報](#)」(P.2-3)を参照してください。
- Cisco Integrated Management Controller (CIMC) ソフトウェア バージョン 1.2.1(b) 以降がインストールされていること。詳細については、「[CIMC および BIOS 情報](#)」(P.2-3)を参照してください。
- このバージョンの CIMC がインストール済みであることを確認する手順は、「[Cisco CIMC ソフトウェアのバージョンの確認](#)」(P.2-3)の手順を参照してください。詳細については、『[Cisco CIMC Firmware Management on UCS C-Series Servers](#)』を参照してください。
これよりも前のバージョンの CIMC がインストールされている場合は、インストールに失敗します。
- N1010 CIMC GUI を使用して、マニュアルの手順に従い CIMC と BIOS ファームウェアを個別に更新してください。詳細については、「[CIMC および BIOS 情報](#)」(P.2-3)を参照してください。

注意事項および制約事項

Cisco Nexus 1010 製品ファミリの設定時に以下のガイドラインおよび制約事項に従ってください。

- ドメイン ID は VLAN 内で一意である必要があります。
- 他の Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1000V が同じ VLAN に存在する場合も、ドメイン ID は全体で一意である必要があります。
- ソフトウェアの設定時に、使用しているシステムのアップリンク タイプを設定します。アップリンク タイプを設定した場合、アップリンク タイプを変更するにはソフトウェアをリロードする必要があります。
- HA スタンドアロン ロールは Cisco Nexus 1010 ではサポートされていません。
シスコのベスト プラクティスとして、プライマリ Cisco Nexus 1010 をセカンダリ バックアップと同時に設定することをお勧めします。プライマリ Cisco Nexus 1010 は、セカンダリ バックアップなしで設定してもかまいませんが、実働環境ではこの設定はお勧めできません。
- プライマリ 1010 とセカンダリ 1010 で、ドメイン ID、アップリンク タイプ、制御 VLAN、管理 VLAN、制御アップリンク、管理アップリンクを同じものに設定することをお勧めします。
- Cisco Nexus 1010 のペアリングは、ハードウェア プラットフォームと一致している必要があります。Cisco Nexus 1010 と Cisco Nexus 1010-X をペアにすることはできません。

CIMC および BIOS 情報

CIMC の最新ソフトウェア バージョンのインストールと、CIMC および BIOS ファームウェアの更新を行うには、以下のガイドラインを使用してください。

- 最新のファームウェア 1.4(3) 以降を搭載している必要があります。ファームウェア リリース 1.4(3) 以降の場合、Cisco UCS Host Upgrade Utility ツールは Cisco Nexus 1010 と Cisco Nexus 1010-X をサポートします。

ファームウェアは次の場所からダウンロードできます。

[http://www.cisco.com/cisco/software/release.html?mdfid=283860950&release=1.4\(2\)&reind=AVAILABLE&softwareid=283850974&rellifecycle=&reltype=latest](http://www.cisco.com/cisco/software/release.html?mdfid=283860950&release=1.4(2)&reind=AVAILABLE&softwareid=283850974&rellifecycle=&reltype=latest)

Cisco UCS Host Upgrade Utility ツールの関連資料については、以下を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/partner/products/ps10493/products_user_guide_list.html

- CIMC ソフトウェア バージョン 1.2.1(b) 以降がインストールされている必要があります。次の手順を使用して CIMC ソフトウェアの最新バージョンをダウンロードします。
 - 次の場所からシスコ ソフトウェアのダウンロード ページにアクセスします。
<http://www.cisco.com/cisco/software/type.html?mdfid=283860950&catid=null>
 - [Unified Computing System (UCS) Server Firmware] をクリックしてソフトウェアのタイプを選択します。[Download Software] ページが表示されます。
 - 最新リリースを選択します。
 - [Download] をクリックして、CIMC ソフトウェアの最新バージョンをダウンロードします。
- このバージョンの CIMC がインストール済みであることを確認する手順は、「Cisco CIMC ソフトウェアのバージョンの確認」(P2-3) の手順を参照してください。詳細については、『*CIMC Firmware Management on UCS C-Series Servers*』を参照してください。

これよりも前のバージョンの CIMC がインストールされている場合は、アップグレードまたはインストールに失敗します。
- N1010 CIMC GUI を使用して、マニュアルの手順に従い CIMC と BIOS ファームウェアを個別に更新してください。
 - 次のマニュアルの手順に従い、最新の CIMC バージョンにアップグレードします。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps10493/products_configuration_example09186a0080b07b7c.shtml#gui-firmware-browser
 - 次のマニュアルの手順に従い、BIOS ファームウェアをアップグレードします。
http://www.cisco.com/en/US/docs/unified_computing/ucs/c/sw/bios/b_Upgrading_BIOS_Firmware.html#task_DD83FB75DB8C485FA4E8ED222C77BD3C

Cisco CIMC ソフトウェアのバージョンの確認

次の手順に従って、CIMC ソフトウェア バージョン 1.2.1(b) 以降が Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X にインストール済みであることを確認します。

はじめる前に

この手順を開始する前に、次のことを確認または実行する必要があります。

- CIMC ソフトウェア バージョン 1.2.1(b) 以降がインストールされていること。

- CIMC ソフトウェア バージョン 1.2.1(b) 以降がインストールされている場合、**show hardware** コマンドの出力で、Cisco Nexus 1010 では製品 ID N1K-C1010、Cisco Nexus 1010-X では製品 ID N1K-C1010-X が得られます。ここで説明する手順には、この確認作業が含まれています。
- CLI または Web ブラウザから Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X にログイン済みであること。

ステップ 1 Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X から、次のいずれかを実行して製品 ID (PID) を表示します。

- CLI で、**show hardware** コマンドを実行して出力を表示します。「Switch Hardware ID information」の下にある PID を探します。
- Web ブラウザで、[Server Summary] ウィンドウを開いてサーバ プロパティを表示します。例については、[図 2-1](#) を参照してください。

例:

```
DOCS-CPPA# show hardware
switch# show hardware
unset
Software
  loader:      version unset
  kickstart:  version unset
  system:     version unset
  kickstart image file is: unset
  kickstart compile time: unset [unset]
  system image file is:  unset
  system compile time:  unset [unset]

Hardware
  cisco unset ("unset")
  unset with unset unset of memory.
  Processor Board ID unset

Device name: unset
bootflash:      unset kB
Disk Storage capacity for VM virtual disks: 346264 MB
Number of physical 1Gbps ethernet ports: 6
Number of CPU Cores: 12
CPU Cores details:
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           X5650  @ 2.67GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           X5650  @ 2.67GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           X5650  @ 2.67GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           X5650  @ 2.67GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           X5650  @ 2.67GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           X5650  @ 2.67GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           X5650  @ 2.67GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           X5650  @ 2.67GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           X5650  @ 2.67GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           X5650  @ 2.67GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           X5650  @ 2.67GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           X5650  @ 2.67GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           X5650  @ 2.67GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           X5650  @ 2.67GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           X5650  @ 2.67GHz

Kernel uptime is unset day(s), unset hour(s), unset minute(s), unset second(s)

plugin
  Core Plugin, Ethernet Plugin, Virtualization Plugin
-----
Switch hardware ID information
-----
```

```

Switch is booted up
Switch type is : Nexus 1010 (Virtual Services Appliance) 2 slot Chassis
Model number is Nexus 1010
PID-VID-SN: N1K-C1010-A-1939956678133462692

-----
Chassis has 2 Module slots
-----

Module1 ok
Module type is : Nexus 1010 (Virtual Services Appliance)
0 submodules are present
Model number is Nexus 1010
H/W version is A
UUID is 03BB2905-E130-DF11-68A1-68EFBDF61D42
Manufacture date is 03/29/2010
Serial number is QCI1410A4WG

Module2 ok
Module type is : Nexus 1010 (Virtual Services Appliance)
0 submodules are present
Model number is Nexus 1010
H/W version is A
UUID is 62ED8405-7031-DF11-4DA5-68EFBDF62300
Manufacture date is 03/29/2010
Serial number is QCI1410A4LP

```

図 2-1 CIMC のウィンドウに表示される製品 ID (PID)



ステップ 2 次のいずれかの手順を実行します。

- 表示される PID が N1K-C1010 であるか、Cisco Nexus 1010-X で N1K-C1010-X である場合、インストールを続行するか、Cisco Nexus 1010 Release 4.2(1)SP1(4) にアップグレードできます。
- 表示される PID が Cisco Nexus 1010 で N1K-C1010 以外の場合、あるいは Cisco Nexus 1010-X で N1K-C1010-X 以外の場合は、インストールまたは Release 4.2(1)SP1(4) へのアップグレードは行わないでください。代わりに、RMA プロセスを使用して Cisco Nexus 1010 を置き換える必要があります。

管理ソフトウェアについての情報の収集

インストールを開始する前に、Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X について以下の情報が必要です。

- 「管理者クレデンシャル」 (P.2-6)
- 「High Availability (HA; ハイ アベイラビリティ) 冗長ロール」 (P.2-6)
- 「HA 冗長ステート」 (P.2-7)
- 「Domain ID」 (P.2-7)
- 「ネットワーク アップリンク」 (P.2-8)
- 「VLAN」 (P.2-9)

管理者クレデンシャル

システム ソフトウェアを設定する場合は、管理者パスワードを作成する必要があります。表 2-1 に、パスワード強化のためのガイドラインを示します。

表 2-1 パスワード強化のためのガイドライン

強力なパスワードに含まれるもの	脆弱なパスワード構成 :
<ul style="list-style-type: none"> • 最低 8 文字 • 大文字の英字 • 小文字の英字 • 数字 • 特殊文字 	<ul style="list-style-type: none"> • 連続する文字 (例 : abcd) • 文字の繰り返し (例 : aaabbb) • 辞書に載っている単語 • 固有名詞

High Availability (HA; ハイ アベイラビリティ) 冗長ロール

Cisco Nexus 1010 製品ファミリーは、ハイ アベイラビリティを実現するために冗長なペアで提供されます。デバイスを設定する場合に、ハイ アベイラビリティ ロール (プライマリまたはセカンダリ) を設定します。表 2-2 に、これらのロールの説明を示します。



(注) HA スタンドアロン ロールは Cisco Nexus 1010 製品ファミリーではサポートされていません。

表 2-2 HA 冗長ロール

ロール	説明
プライマリ	<ul style="list-style-type: none"> プライマリ ロールは、セカンダリ Cisco Nexus 1010 とアクティブまたはスタンバイ冗長ステートを調整します。 アクティブまたはスタンバイ冗長ステートをネゴシエートする場合は、ブートアップ中にプライマリ ロールが優先されます。つまり、ブートアップ時にセカンダリ Cisco Nexus 1010 がアクティブ ステートでない場合は、プライマリ Cisco Nexus 1010 がアクティブ冗長ステートになります。 プライマリ ロールを、デュアル システムで最初にインストールした Cisco Nexus 1010 に割り当てます。
セカンダリ	<ul style="list-style-type: none"> セカンダリ ロールは、プライマリ Cisco Nexus 1010 とアクティブまたはスタンバイ ステートを調整します。 セカンダリ ロールを、デュアル システムで 2 番目にインストールした Cisco Nexus 1010 に割り当てます。

HA 冗長ステート

表 2-3 に、HA 冗長ステートの説明を示します。

表 2-3 HA 冗長ステート

冗長性状態	説明
Active	<p>システムを制御し、外部から可視できます。</p> <p>アクティブ システムは、初期設定後にネットワークからリモートでアクセスされます。Cisco Nexus 1010 を管理するためのユーザ インターフェイスを使用できるのは、アクティブ システムだけです。</p>
Standby	<p>設定をアクティブ Cisco Nexus 1010 のものと同期し、障害発生時や手動スイッチオーバーが必要な場合に設定を引き続き使用できるようにします。</p> <p>Telnet または Secure Shell (SSH; セキュア シェル) プロトコルを使用してスタンバイ Cisco Nexus 1010 と通信することはできません。</p> <p>スタンバイ Cisco Nexus 1010 はネットワークを介してアクセスできず、シリアルポートを使用してアクセスされます。</p> <p>Cisco Nexus 1010 を管理するためのユーザ インターフェイスは、スタンバイ システムから利用できません。</p>

Domain ID

プライマリおよびセカンダリ Cisco Nexus 1010 は、ドメイン ID を使用してお互いを識別します。Cisco Nexus 1010 は同じスイッチング ドメインに属し、同じ管理 IP アドレスを共有する必要があります。

ネットワーク アップリンク

Cisco Nexus 1010 製品ファミリーは、ネットワークに接続するため次の 2 つのタイプのネットワーク アップリンク設定をサポートします。

- **フレキシブル ネットワーク アップリンク**：フレキシブル ネットワーク設定により、Cisco Nexus 1010 製品ファミリーをネットワークに接続する完全な柔軟性が得られ、最大 6 個のアップリンクを設置できるようになります。
- **スタティック ネットワーク アップリンク**：スタティック ネットワーク アップリンク設定では、Cisco Nexus 1010 製品ファミリーは 4 個の固定ネットワーク アップリンク設定を使用してネットワークに接続します。「表 2-4 ネットワーク アップリンク タイプ」(P.2-9) を参照してください。

上記の設定により、サポート対象の次の 5 つのアップリンク タイプのいずれかを使用してシステムをネットワークに接続できます。

- 1 つのアップリンク
- 共通の管理および制御トラフィックを持つ 2 つのアップリンク
- 共通の制御およびデータ トラフィックを持つ 2 つのアップリンク
- 3 つのアップリンク
- フレキシブル ネットワーク アップリンク



(注) アップリンク タイプを設定した場合、アップリンク タイプを変更するにはソフトウェアをリロードする必要があります。

ネットワーク アップリンクのタイプについて詳しくは、『Cisco Nexus 1010 Software Configuration Guide, Release 4.2(1)SP1(4)』を参照してください。

Cisco Nexus 1010 製品ファミリーのインストール時に、フレキシブル ネットワーク アップリンク タイプかスタティック ネットワーク アップリンク タイプのいずれかを設定できます。アップリンク タイプの設定後、アップリンク タイプを変更できるのは一度だけです。ネットワーク アップリンクのタイプの移行について詳しくは、『Cisco Nexus 1010 Software Configuration Guide, Release 4.2(1)SP1(4)』を参照してください。

表 2-4 表 2-4 に、サポートされた 4 つのネットワーク アップリンク タイプと各タイプの仮想 LAN (VLAN) トラフィックを伝送するポートを示します。

表 2-4 ネットワーク アップリンク タイプ

アップリンク タイプ	管理 VLAN	コントロール VLAN	データ VLAN
1	ポート 1 および 2	ポート 1 および 2	ポート 1 および 2
2	ポート 1 および 2	ポート 1 および 2	ポート 3 ~ 6
3	ポート 1 ~ 2	ポート 3 ~ 6	ポート 3 ~ 6
4	ポート 1 ~ 2	ポート 3 ~ 4	ポート 5 ~ 6
フレキシブル	トラフィック クラスに基づいたトラフィック分離はありません		

VLAN

Cisco Nexus 1010 製品ファミリでは、仮想サービス ブレードに対する管理と通信を行うために制御 VLAN と管理 VLAN が使用されます。これらの VLAN は、管理ソフトウェアの初期設定の一部として追加されます。制御 VLAN とパケット VLAN も作成された各仮想サービス ブレードに追加されません。管理 VLAN は、各仮想サービス ブレードによって Cisco Nexus 1010 製品ファミリから継承されます。

Cisco Nexus 1010 製品ファミリで制御 VLAN、パケット VLAN、または管理 VLAN を変更する場合、変更はすぐに反映されます。Cisco Nexus 1010 で制御 VLAN および管理 VLAN の変更を反映するには、リロードが必要です。ただし、サービスの持続性のため、ホストされた Virtual Supervisor Module (VSM) で同じ制御 VLAN とパケット VLAN を設定する必要があります。このように設定しないと、Cisco Nexus 1010 が VSM との通信を失います。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「管理 VLAN」 (P.2-9)
- 「コントロール VLAN」 (P.2-9)

管理 VLAN

管理 VLAN は、Cisco Nexus 1010 の管理ポートに対するトラフィックを転送する VLAN です。仮想サービス ブレードがトラフィックの管理クラスを使用する場合、仮想サービス ブレードは Cisco Nexus 1010 から管理 VLAN を継承します。

管理 VLAN は外部から使用され、Cisco Nexus 1010 の管理 0 インターフェイスに到達します。Cisco Nexus 1010 とホストされた Cisco Nexus 1000V VSM は同じ管理 VLAN を共有します。仮想サービス ブレードの作成時に設定された制御 VLAN とパケット VLAN とは異なり、管理 VLAN は Cisco Nexus 1010 がホストするすべての仮想サービス ブレードによって Cisco Nexus 1010 から継承されます。

コントロール VLAN

制御 VLAN は、冗長な Cisco Nexus 1010 間の通信に使用されるレイヤ 2 インターフェイスです。このインターフェイスは、ハートビートなどの下位の制御パケットと Cisco Nexus 1010 間で交換する必要があるすべての設定データを処理します。

プライマリ Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X の設定

次のいずれかに対して管理ソフトウェアを設定する手順を次に示します。

- 冗長 HA ペアのプライマリ Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X
- 単一の Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X。

シスコのベスト プラクティスとして、プライマリ Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X をセカンダリ バックアップと同時に設定することをお勧めします。プライマリ Cisco Nexus 1010 は、セカンダリ バックアップなしで設定してもかまいませんが、実働環境ではこの設定はお勧めできません。

はじめる前に

- この Cisco Nexus 1010 に対して次の情報が利用可能であること。
 - 管理者パスワード
 - HA ロール (プライマリまたはセカンダリ)
HA ロールを指定しないと、ロールはプライマリとして設定されます。



(注) HA スタンドアロン ロールは Cisco Nexus 1010 ではサポートされていません。

- ネットワーク アップリンク タイプ
- コントロール VLAN ID
- ドメイン ID
- 管理 VLAN ID
- 管理 0 IP アドレス
これは、アプライアンスで mgmt0 ポートとして現れる管理インターフェイスの IP アドレスです。
- デフォルト ゲートウェイの IP アドレス
- SSH サービスのキー タイプとキー ビット数

手順の詳細

ステップ 1 次の方法のいずれかを使用して、Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X CLI にログインします。セットアップ ウィザードが自動的に起動します。

- ターミナル サーバからログインします。

```
例:
telnet 172.25.182.99 2005
Trying 172.25.182.99...
Connected to 172.25.182.99.
Escape character is '^]'
switch#

---- System Admin Account Setup ----
Enter the password for "admin":
Confirm the password for "admin":
```

- CIMC で Serial over LAN 接続からログインします。

```
例：
ssh admin@172.25.182.230
admin@172.25.182.230's password:
switch# connect host
CISCO Serial Over LAN:
Close Network Connection to Exit

---- System Admin Account Setup ----
Enter the password for "admin":
Confirm the password for "admin":
```

- ステップ 2** 画面の指示に従って、管理者パスワードの入力と確認を行います。

```
例：
---- System Admin Account Setup ----
Enter the password for "admin":
Confirm the password for "admin":
```

- ステップ 3** 画面の指示に従って、HA ロールを入力します。ロールを指定しない場合は、プライマリが割り当てられます。

```
例：
Enter HA role[primary/secondary]: primary
```



(注) HA スタンドアロン ロールは Cisco Nexus 1010 製品ファミリーではサポートされていません。

- ステップ 4** 画面の指示に従って、アップリンク タイプを入力します。スタティック ネットワーク アップリンクを指定するには、1 ~ 4 の値を入力します。フレキシブル ネットワーク アップリンクを指定するには、5 の値を入力します。



(注) アップリンク タイプを設定した場合、アップリンク タイプを変更するにはソフトウェアをリロードする必要があります。

```
例：
Enter network-uplink type <1-5>:
 1. Ports 1-2 carry all management, control and data vlans
 2. Ports 1-2 management and control, ports 3-6 data
 3. Ports 1-2 management, ports 3-6 control and data
 4. Ports 1-2 management, ports 3-4 control, ports 5-6 data
 5. Flexible
5
```

- ステップ 5** 画面の指示に従って、制御 VLAN の VLAN ID を入力します。

```
例：
Enter control vlan <1-3967, 4048-4093>: 347
```

- ステップ 6** 画面の指示に従って、制御アップリンク タイプを入力します。

```
例：
Enter control uplink <1-6>: 1
```

■ プライマリ Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X の設定

ステップ 7 画面の指示に従って、ドメイン ID を入力します。

例：

```
Enter the domain id<1-4095>: 3477
```

ステップ 8 画面の指示に従って、管理 VLAN の VLAN ID を入力します。

例：

```
Enter management vlan<1-3967,4048-4093>: 180
```

ステップ 9 画面の指示に従って、管理アップリンク タイプを入力します。

例：

```
Enter management uplink <1-6>: 2
```

ステップ 10 このプロセスを完了すると、Cisco Nexus 1010 ソフトウェアは設定を保存し、ネットワーク アップリンクを設定するために自動的にリブートします。

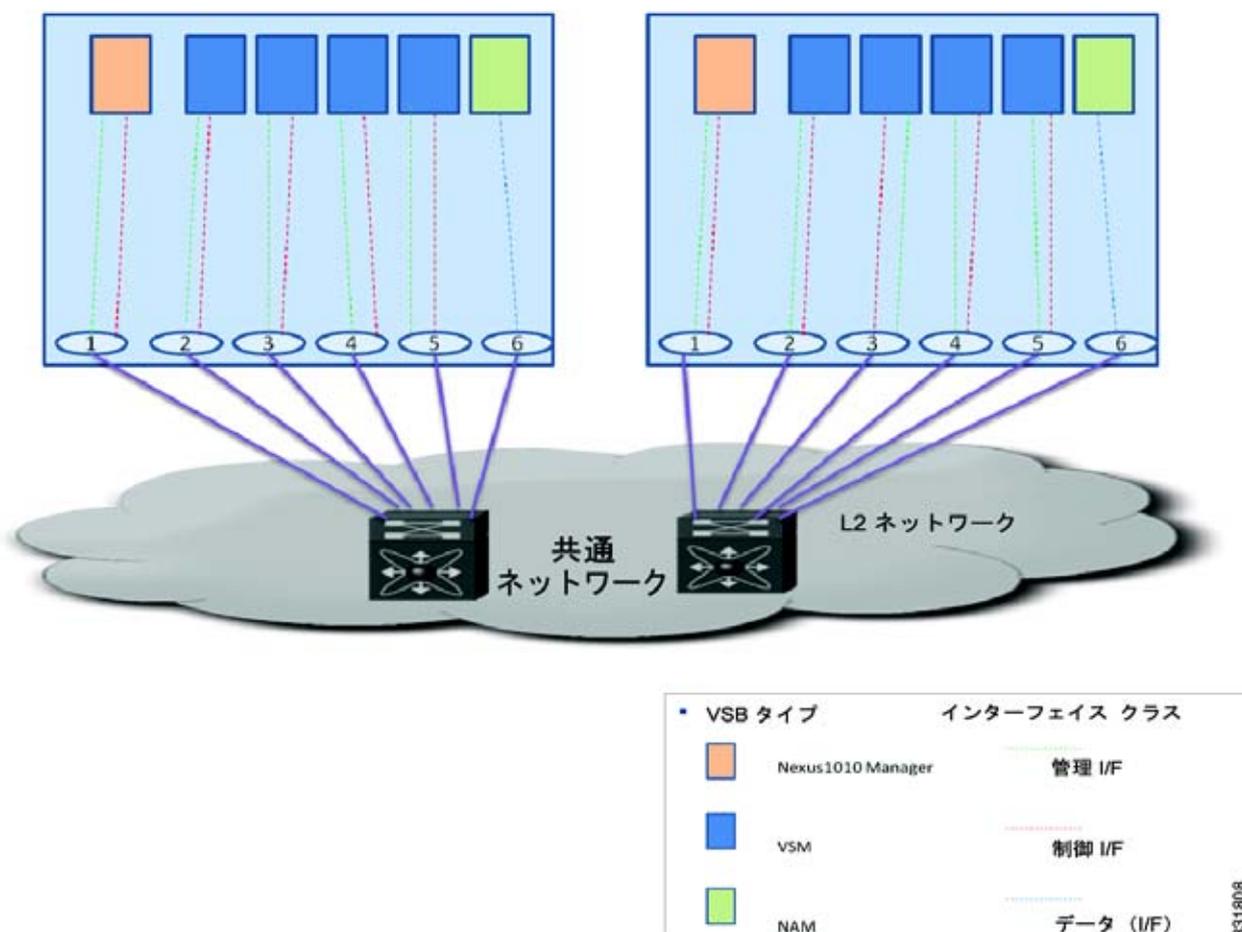
新しい設定は不揮発性ストレージに保存され、その後、実行コンフィギュレーションとスタートアップコンフィギュレーションが同一になります。

```
Saving boot configuration. Please wait...
```

```
[#####] 100%  
System is going to reboot to configure network uplinks
```

リブート後、デフォルトのスタティック トポロジまたはフレキシブル トポロジが設定されます。デフォルトのネットワーク アップリンク設定については、[図 2-2](#) を参照してください。詳細については、『*Cisco Nexus 1010 Software Configuration Guide, Release 4.2(1)SP1(4)*』を参照してください。

図 2-2 デフォルトのフレキシブル ネットワーク アップリンク設定



ステップ 11 基本設定ダイアログボックスの入力を確認するメッセージが表示されたら、**yes** と答えます。

例：

```
Would you like to enter the basic configuration dialog (yes/no): yes
```

```
---- Basic System Configuration Dialog ----
```

```
This setup utility will guide you through the basic configuration of the system. Setup configures only enough connectivity for management of the system.
```

```
*Note: setup is mainly used for configuring the system initially, when no configuration is present. So setup always assumes system defaults and not the current system configuration values.
```

```
Press Enter at anytime to skip a dialog. Use ctrl-c at anytime to skip the remaining dialogs.
```

ステップ 12 別のログイン アカウントの作成を確認するメッセージが表示されたら、**no** と答えます。

例：

```
Create another login account (yes/no) [n]: no
```

ステップ 13 読み取り専用 SNMP コミュニティ スtring の設定を確認するメッセージが表示されたら、**no** と答えます。

例:

```
Configure read-only SNMP community string (yes/no) [n]: no
```

ステップ 14 読み取りと書き込み SNMP コミュニティ スtring の設定を確認するメッセージが表示されたら、**no** と答えます。

例:

```
Configure read-write SNMP community string (yes/no) [n]:
```

ステップ 15 アプライアンスの名前を入力します。

例:

```
Enter the VSA name [Nexus1010]:
```

ステップ 16 アウトオブバンド管理の設定を確認するメッセージが表示されたら、**yes** と答えて管理 0 IPv4 アドレスを入力します。

これは、アプライアンスで **mgmt0** ポートとして現れる管理インターフェイスの IP アドレスです。

例:

```
Continue with Out-of-band (mgmt0) management configuration? [yes/no] [y]: yes
Mgmt0 IPv4 address: 10.78.109.67
```

ステップ 17 デフォルト ゲートウェイの設定を確認するメッセージが表示されたら、**yes** と答えます。

例:

```
Configure the default-gateway: (yes/no) [y]: yes
IPv4 address of the default gateway : 10.78.109.65
```

ステップ 18 高度な IP オプションを設定するかどうかを尋ねるプロンプトが表示されたら、**no** と入力します。

例:

```
Configure Advanced IP options (yes/no)? [n]: no
```

ステップ 19 Telnet サービスの有効化を確認するメッセージが表示されたら、**yes** と答えます。

例:

```
Enable the telnet service? (yes/no) [y]: yes
```

ステップ 20 SSH サービスの有効化を確認するメッセージが表示されたら、**yes** と答えてキー タイプとキー ビット数を入力します。

例:

```
Enable the ssh service? (yes/no) [y]: yes
Type of ssh key you would like to generate (dsa/rsa) : rsa
Number of key bits <768-2048> : 1024
```

ステップ 21 NTP サーバの設定を確認するメッセージが表示されたら、**no** と答えます。

設定の概要が表示されます。

例:

```
Configure NTP server? (yes/no) [n]: no
```

```
The following configuration will be applied:
```

```
Switchname n1010
interface Mgmt0
ip address 172.28.15.152 255.255.255.0
no shutdown
telnet server enable
ssh key rsa 1024 force
ssh server enable
svs-domain
```

```
control vlan 260
domain id 152
```

ステップ 22 次のいずれかの手順を実行します。

- 設定を編集しない場合は、**no** と答えて次のステップに進む。
- 設定を編集する場合は、**yes** と答えて**ステップ 12**に戻り、各コマンドを再度実行する。

例:

```
Would you like to edit the configuration? (yes/no) [n]:no
```

ステップ 23 この設定を使用および保存するかどうかを確認するメッセージが表示されたら、**yes** と答えます。



注意

ここで設定を保存しておかないと、次のスイッチ起動時に設定が更新されません。新しい設定を保存するには、**yes** と入力します。これによって、キックスタートイメージとシステムイメージも自動的に設定されます。

例:

```
Use this configuration and save it? (yes/no) [y]: yes
[#####] 100%
```

新しい設定は不揮発性ストレージに保存され、その後、実行コンフィギュレーションとスタートアップコンフィギュレーションが同一になります。



(注)

EXEC モードで **setup** コマンドを入力すると、**ステップ 12** から **ステップ 23** で実行した設定を更新するセットアップルーチンをいつでも使用できます。セットアップが開始されたら、Enter キーを押してコマンドをスキップします。Ctrl キーを押した状態で C キーを押して、残りのコマンドをスキップします。

ステップ 24 これで手順は完了です。設定を確認するには、次のコマンドを実行します。

show running configuration

```
!Command: show running-config
!Time: Wed Mar  7 17:10:17 2012

version 4.2(1)SP1(4)
no feature telnet

username admin password 5 $1$SeEBgc65$mXwtmD2lscAbznFLkIRu0  role network-admin
banner motd #Nexus 1010#

ip domain-lookup
ip domain-lookup
hostname switch
snmp-server user admin network-admin auth md5 0xb64ad6879970f0e57600c443287a79f0 priv
0xb64ad6879970f0e57600c443287a79f0 localizedkey

vrf context management
vlan 1,231,423
port-channel load-balance ethernet source-mac
port-profile default max-ports 32

vdc switch id 1
  limit-resource vlan minimum 16 maximum 2049
  limit-resource monitor-session minimum 0 maximum 2
  limit-resource vrf minimum 16 maximum 8192
  limit-resource port-channel minimum 0 maximum 768
  limit-resource u4route-mem minimum 32 maximum 32
```

```
limit-resource u6route-mem minimum 16 maximum 16
limit-resource m4route-mem minimum 58 maximum 58
limit-resource m6route-mem minimum 8 maximum 8
network-uplink type 1
interface GigabitEthernet1
interface GigabitEthernet2
interface GigabitEthernet3
interface GigabitEthernet4
interface GigabitEthernet5
interface GigabitEthernet6
shutdown
interface PortChannell
virtual-service-blade vsm-1
  virtual-service-blade-type name VSM-1.1
  interface control vlan 423
  interface packet vlan 423
  ramsize 2048
  disksize 3
  numcpu 1
  cookie 522855478
  no shutdown
interface VsbEthernet1/1
interface VsbEthernet1/2
interface VsbEthernet1/3
virtual-service-blade vsm-2
  virtual-service-blade-type name VSM-1.1
  interface control vlan 423
  interface packet vlan 423
  ramsize 2048
  disksize 3
  numcpu 1
  cookie 824895200
  no shutdown

interface mgmt0

interface control0
line console
boot kickstart bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.3.41.bin
boot system bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.3.41.bin
boot kickstart bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.3.41.bin
boot system bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.3.41.bin
svs-domain
  domain id 1900
  control vlan 423
  management vlan 231
  sv mode L2
vnm-policy-agent
  registration-ip 0.0.0.0
  shared-secret *****
  log-level info
```

セカンダリ Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X の設定

冗長ペアで、セカンダリ Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X に対して管理ソフトウェアを設定する手順を次に示します。

プライマリ 1010 とセカンダリ 1010 で、ドメイン ID、アップリンク タイプ、制御 VLAN、管理 VLAN、制御アップリンク、管理アップリンクを同じものに設定することをお勧めします。

手順の詳細

ステップ 1 画面の指示に従って、管理者パスワードの入力と確認を行います。

例：

```
---- System Admin Account Setup ----
Enter the password for "admin":
Confirm the password for "admin":
```

ステップ 2 画面の指示に従って、HA ロールを入力します。

例：

```
Enter HA role[primary/secondary]: secondary
```

ステップ 3 画面の指示に従って、アップリンク タイプを入力します。



(注) アップリンク タイプを設定した場合、アップリンク タイプを変更するにはソフトウェアをリロードする必要があります。

例：

```
Enter network-uplink type <1-5>:
 1. Ports 1-2 carry all management, control and data vlans
 2. Ports 1-2 management and control, ports 3-6 data
 3. Ports 1-2 management, ports 3-6 control and data
 4. Ports 1-2 management, ports 3-4 control, ports 5-6 data
 5. Flexible
5
```

ステップ 4 画面の指示に従って、制御 VLAN の VLAN ID を入力します。

例：

```
Enter control vlan <1-3967, 4048-4093>: 347
```

ステップ 5 画面の指示に従って、制御アップリンク タイプを入力します。

例：

```
Enter control uplink <1-6>: 1
```

ステップ 6 画面の指示に従って、ドメイン ID を入力します。

例：

```
Enter the domain id<1-4095>: 3477
```

ステップ 7 画面の指示に従って、管理 VLAN の VLAN ID を入力します。

例:

```
Enter management vlan<1-3967,4048-4093>: 180
```

ステップ 8 画面の指示に従って、管理アップリンク タイプを入力します。

例:

```
Enter management uplink <1-6>: 2
```

スイッチでは次のことが起こります。

- 新しい設定は不揮発性ストレージに保存され、その後、実行コンフィギュレーションとスタートアップコンフィギュレーションが同一になります。
- ネットワーク アップリンクを設定するためにシステムがリブートします。
- システムが再起動し、プライマリ Cisco Nexus 1000V と設定を同期します。

例:

```
Saving boot configuration. Please wait...
```

```
[#####] 100%
```

```
System is going to reboot to configure network uplinks
HA mode set to secondary. Rebooting now...
```

ステップ 9 これで手順は完了です。設定を確認するには、次のコマンドを実行します。

show running configuration

ネットワーク アップリンク設定の例

次の例は、インストール時にフレキシブル ネットワーク アップリンクを設定する方法を示します。

```
---- System Admin Account Setup ----
Enter the password for "admin":
Confirm the password for "admin":
Enter HA role[primary/secondary]: secondary

- Enter network-uplink type <1-5>:
  1. Ports 1-2 carry all management, control and data vlans
  2. Ports 1-2 management and control, ports 3-6 data
  3. Ports 1-2 management, ports 3-6 control and data
  4. Ports 1-2 management, ports 3-4 control, ports 5-6 data
  5. Flexible
5

- Enter control vlan <1-3967, 4048-4093>: 347
Enter control uplink <1-6>: 1

- Enter the domain id<1-4095>: 3477

- Enter management vlan <1-3967, 4048-4093>: 180
Enter management uplink <1-6>: 2

- Saving boot configuration. Please wait...
[#####] 100%
System is going to reboot to configure network uplinks
```

次の例は、インストール時にスタティック ネットワーク アップリンクを設定する方法を示します。

```

---- System Admin Account Setup ----
  Enter the password for "admin":
  Confirm the password for "admin":
  Enter HA role[primary/secondary]: secondary

-
  Enter network-uplink type <1-5>:
  1. Ports 1-2 carry all management, control and data vlans
  2. Ports 1-2 management and control, ports 3-6 data
  3. Ports 1-2 management, ports 3-6 control and data
  4. Ports 1-2 management, ports 3-4 control, ports 5-6 data
  5. Flexible
1
-
  Enter control vlan <1-3967, 4048-4093>: 300
-
  Enter the domain id<1-4095>: 300
-
  Enter management vlan <1-3967, 4048-4093>: 233
-
  Saving boot configuration. Please wait...
[#####] 100%
  System is going to reboot to configure network uplinks

```

Cisco Nexus 1010 設定の確認

Cisco Nexus 1010 設定を確認するには、次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
show running-configuration	Cisco Nexus 1010 の実行コンフィギュレーションを表示します。 例 2-1 (P.2-19) を参照してください。
show system redundancy status	Cisco Nexus 1010 の冗長ステート（アクティブまたはスタンバイ）と冗長ロール（プライマリまたはセカンダリ）を表示します。 例 2-2 (P.2-20) を参照してください。
show svcs domain	Cisco Nexus 1010 のドメイン情報を表示します。 例 2-3 (P.2-20) を参照してください。
show network cdp neighbors	アクティブまたはスタンバイ Cisco Nexus 1010 のアップリンク接続を表示します。 例 2-4 (P.2-21) を参照してください。

例 2-1 設定

次に、Cisco Nexus 1010 設定を表示および確認する例を示します。

```

Nexus1010# show running-config
version 4.2(1)SV1(4)
username adminbackup password 5 $1$0ip/C5Ci$0Odx7oJSlBCFpNRmQK4na. role network-operator
username admin password 5 $1$ZMouammW$56jYJfpQuDjDen5MABcW/ role network-admin
telnet server enable

```

```

ip domain-lookup
ip host Nexus1010 172.23.231.113
kernel core target 0.0.0.0
kernel core limit 1
system default switchport
snmp-server user admin network-admin auth md5 0xb64ad6879970f0e57600c443287a79f0 priv 0x
b64ad6879970f0e57600c443287a79f0 localizedkey
snmp-server enable traps license
vrf context management
  ip route 0.0.0.0/0 172.23.231.1
switchname Nexus1010
vlan 1,231,233,280,300
vdc Nexus1010 id 1
  limit-resource vlan minimum 16 maximum 513
  limit-resource monitor-session minimum 0 maximum 64
  limit-resource vrf minimum 16 maximum 8192
  limit-resource port-channel minimum 0 maximum 256
  limit-resource u4route-mem minimum 32 maximum 80
  limit-resource u6route-mem minimum 16 maximum 48
network-uplink type 1

interface mgmt0
  ip address 172.23.231.113/24

interface control0
boot kickstart bootflash:/nexus-1010-kickstart-mzg.4.2.1.SP1.3.bin
boot system bootflash:/nexus-1010-mzg.4.2.1.SP1.2.bin
boot kickstart bootflash:/nexus-1010-kickstart-mzg.4.2.1.SP1.3.bin
boot system bootflash:/nexus-1010-mzg.4.2.1.SP1.3.bin
svs-domain
  domain id 2801
  control vlan 300
  management vlan 233
  svcs mode L2

```

例 2-2 冗長ステート

```

n1010# show system redundancy status
Redundancy role
-----
      administrative:  primary
      operational:    primary
Redundancy mode
-----
      administrative:  HA
      operational:    None
This supervisor (sup-1)
-----
      Redundancy state:  Active
      Supervisor state:  Active
      Internal state:   Active with no standby
Other supervisor (sup-2)
-----
      Redundancy state:  Not present
-----
n1010#

```

例 2-3 ドメイン

```

n1010# show svcs domain

```

```
SVS domain config:
  Domain id:    3555
  Control vlan: 305
  Management vlan: 233
  L2/L3 Control mode: L2
  L3 control interface: NA
  Status: Config not pushed to VC.
n1010#
```

例 2-4 CDP ネイバー (スタンバイ)

```
switch# n1010# show network cdp neighbors
...
Device-ID                Local Intrfce Hldtme Capability Platform      Port ID
-----
sfish-cat3k-K5-stack2 eth2           166    R T B S I r cisco WS-C375 GigabitEthernet1/0/23
switch#
```

Cisco Nexus 1010 を使用する前に

ソフトウェアのインストールが完了すると、Cisco Nexus 1010 製品ファミリーを設定することができません。詳細については、『*Cisco Nexus 1010 Software Configuration Guide, Release 4.2(1)SP1(4)*』を参照してください。

以下はソフトウェアの設定プロセスの基本的な手順です。

-
- ステップ 1** フレキシブル ネットワーク アップリンク用ポート チャンネルを設定します。フレキシブル ネットワーク アップリンク タイプの設定後、ポート チャンネルを設定するにはこの手順を使用します。
 - ステップ 2** リモート管理を設定します。到達不能 Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X のリカバリで使用するスタートアップ コンフィギュレーションにリモート管理を設定するにはこの手順を使用します。
 - ステップ 3** 新規 Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X にサービス ブレードを追加するには、以下のいずれかを実行します。
 - 仮想サービス ブレードを新たに作成する。
 - 既存の VSM を VM から Cisco Nexus 1010 に移行する。
-

Cisco Nexus 1010 の再インストール

ここでは、次の項目について説明します。

- 「ソフトウェアの再インストールについて」 (P.2-22)
- 「注意事項および制約事項」 (P.2-22)
- 「ソフトウェアの再インストール」 (P.2-22)

ソフトウェアの再インストールについて

次の条件に該当する場合は、異なるバージョンのソフトウェアを Cisco Nexus 1010 製品ファミリに再インストールすることができます。

- Cisco Nexus 1010 ディスクが破損している。
- 最新バージョンの Cisco Nexus 1010 が出荷済みだが、前のバージョンをインストールしたい。

Cisco Nexus 1010 でディスク破損が発生した場合は、CD からイメージをコピーすることによりシステムを修復できます。

注意事項および制約事項

ソフトウェアをインストールするときは、次のガイドラインと制約事項に従ってください。



注意

ソフトウェアを再インストールする場合、以前のすべての設定は上書きされ、失われます。

ソフトウェアの再インストール

システム ディスクが破損した場合にソフトウェア CD からソフトウェアを再インストールする手順を次に示します。

はじめる前に

手順を開始する前に、次のことを確認または実行する必要があります。

- 「[Cisco CIMC ソフトウェアのバージョンの確認 \(P.2-3\)](#) の手順を使用して、次の製品 ID (PID) を所有していることを確認済みであること。
 - N1K-C1010 (Cisco Nexus 1010 の場合)
 - N1K-C1010-X (Cisco Nexus 1010-X の場合)



注意

Release 4.2(1)SP1(4) のインストールまたはアップグレードができるのは、Cisco Nexus 1010 の製品 ID (PID) が N1K-C1010 であるか、Cisco Nexus 1010-X の製品 ID (PID) が N1K-C1010-X である場合に限られます。



注意

データ消失の可能性
ソフトウェアを再インストールする場合、以前のすべての設定は上書きされ、失われます。

手順の詳細

- ステップ 1** ターミナル サーバから Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X のシリアルポートに接続します。
- ステップ 2** インストール CD を DVD-RW ドライブに挿入します。

- ステップ 3** Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X で電源ボタンを押します。
- Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X がリブートし、管理ソフトウェア設定プロセスが開始します。
- ソフトウェアを設定する場合は、『*Cisco Nexus 1010 Software Configuration Guide, Release 4.2(1)SP1(4)*』を参照してください。

Cisco Nexus 1010 の交換

図 2-3 (P.2-25) のフローチャートで示すプロセスを使用して、冗長ペアの 1 つの Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X を交換することができます。



(注) Cisco Nexus 1010 の電源オフ、切断、再梱包、出荷の詳細については、『*Cisco Nexus 1010 Virtual Services Appliance Hardware Installation Guide*』を参照してください。

はじめる前に

交換する Cisco Nexus 1010 用ソフトウェアを設定する前に、次のことを確認または実行する必要があります。

- ステップ 1** 正常に機能している Nexus 1010 から次の情報を収集します。

- ソフトウェア バージョン
- HA ロール

正常に機能している Cisco Nexus 1010 の HA ロールにより、交換する Cisco Nexus 1010 に割り当てられるロールが決まります。

- 正常に機能している Cisco Nexus 1010 がプライマリ HA ロールにある場合、交換する Cisco Nexus 1010 用ソフトウェアはセカンダリ HA ロールで設定される必要があります。
- 正常に機能している Cisco Nexus 1010 がセカンダリ HA ロールにある場合、交換する Cisco Nexus 1010 用ソフトウェアはプライマリ HA ロールで設定される必要があります。

- コントロール VLAN
- 管理 VLAN
- ドメイン ID
- ネットワーク アップリンク タイプ

交換する Cisco Nexus 1010 用ソフトウェアを設定する場合、正常に機能している Cisco Nexus 1010 で使用している ID を同じ ID を使用する必要があります。

- ステップ 2** 次の手順を実行して、交換する Nexus1010 を準備します。

- a. ファームウェアの更新を完全に実行します。「[CIMC および BIOS 情報](#)」(P.2-3) を参照してください。
 - ファームウェアの ISO イメージを確認します。
- b. 交換する Nexus 1010 に、既存の Nexus 1010 と同じバージョンのソフトウェアをインストールします。

- 正常に機能している Cisco Nexus 1010 と、交換する Cisco Nexus 1010 で実行されているソフトウェアのバージョンが一致している必要があります。交換する Cisco Nexus 1010 にインストールされているソフトウェアは、その出荷時点での最新バージョンになっています。
- ソフトウェアのバージョンを交換する Cisco Nexus 1010 でダウングレードする必要がある場合は、「ソフトウェアの再インストールについて」(P.2-22) にある手順を使用してください。
- ソフトウェアのバージョンを Cisco Nexus 1010 のいずれかでアップグレードする必要がある場合は、「ソフトウェア リリース 4.2(1)SP1(2) 以降からのアップグレード」(P.3-3) にある手順を使用してください。

ステップ 3 既存の Nexus1010 Virtual Supervisor Module (VSM) で、次を実行します。

- 次の情報を取得します。
 - VSM バージョン
 - ドメイン ID
 - 管理 IP アドレス
 - IP サブネット マスク
 - ゲートウェイ IP アドレス
- 対応する ISO イメージが存在するか確認します。存在しない場合は導入します。

show bootflash:repository

```
switch# dir bootflash:repository
283129856      Apr 25 15:39:15 2012 nexus-1000v.4.2.1.SV1.5.1.iso
```

ステップ 4 交換する Cisco Nexus 1010 用ソフトウェアを設定すると、冗長仮想サービス ブレード (VSB) ごとに、HA ピアを手動でイネーブルにする必要があります。『Cisco Nexus 1010 Software Configuration Guide, Release 4.2(1)SP1(4)』を参照してください。

- 正常に機能している Cisco Nexus 1010 がプライマリ HA ロールである場合、冗長 VSB ごとにセカンダリ HA ピアをイネーブルにします。

```
configure terminal
virtual-service-blade name
enable secondary
```

- 正常に機能している Cisco Nexus 1010 がセカンダリ HA ロールである場合、冗長 VSB ごとにプライマリ HA ピアをイネーブルにします。

```
configure terminal
virtual-service-blade name
enable primary
```

図 2-3 フローチャート : Cisco Nexus 1010 の交換

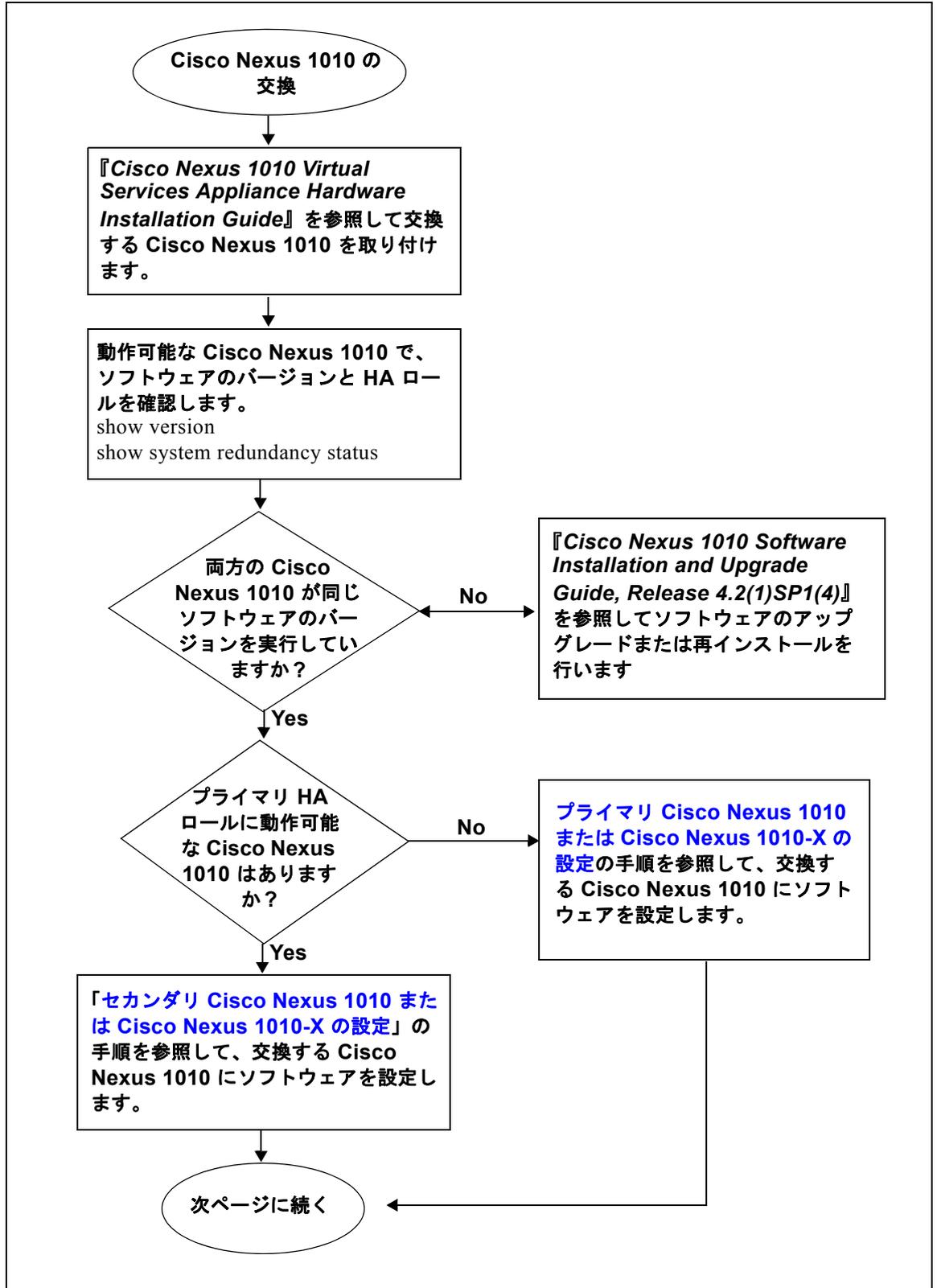
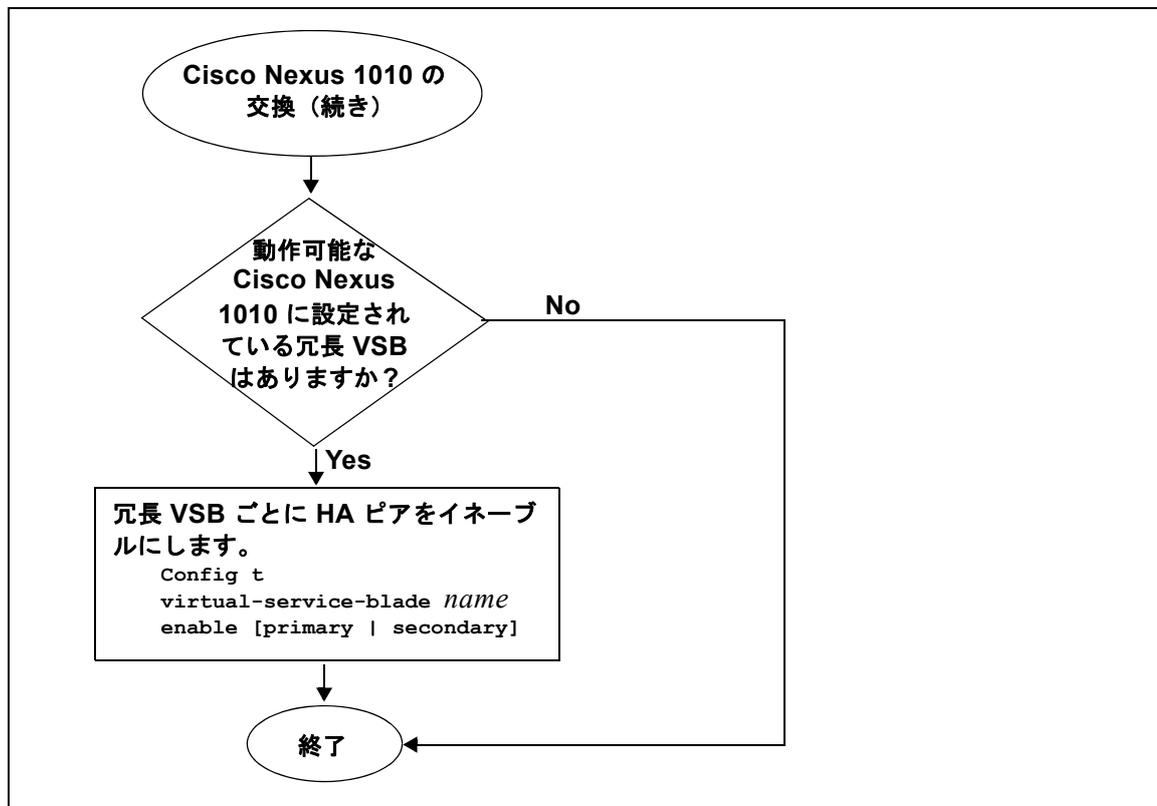


図 2-4 フローチャート : Cisco Nexus 1010 の交換 (続き)



ソフトウェア インストールの機能の履歴

ここでは、ソフトウェア インストールおよびアップグレードのリリース履歴について説明します。

機能名	リリース	機能情報
フレキシブル ネットワーク アップリンク	4.2(1)SP1(4)	この機能が導入されました。
Cisco Nexus 1010-X	4.2(1)SP1(3)	このハードウェアが導入されました。
ソフトウェアの再インストールまたはアップグレード	4.2(1)SP1(2)	この機能が導入されました。



CHAPTER 3

Cisco Nexus 1010 ソフトウェア アップグレード

この章では、Cisco Nexus 1010 製品ファミリを新しいバージョンにアップグレードする方法について説明します。内容は次のとおりです。

- 「前提条件」 (P.3-1)
- 「ソフトウェア リリース 4.2(1)SP1(2) 以降からのアップグレード」 (P.3-3)
- 「ソフトウェア リリース 4.0(4)SP1(1) からのアップグレード」 (P.3-5)
- 「アップグレードの例」 (P.3-9)

In Service Software Upgrade について

Cisco Nexus 1010 のアップグレードは、中断のない In Service Software Upgrade (ISSU) です。ソフトウェアをアップグレードする場合、稼働データは永続情報を失わずに保持されます。VSB が使用できるかどうかは、アップグレードプロセスには影響しません。

アップグレードのためのコマンドが実行されると、アップグレード手順全体が自動化されます。アップグレードプロセスの実行には時間がかかります。プロセスは次の順序で行われます。

- 最初に、ISO イメージのコンポーネントの抽出と検証が行われ、スタンバイ側の Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X と同期をとります。
- 先にスタンバイ側の Cisco Nexus 1010 がアップグレードされます。
- スタンバイ側で VSBS が再起動します。
- アクティブ側のアップグレードが始まります。
- アクティブ側とスタンバイ側のアップグレードが完了すると、両方ともアップグレードされたソフトウェアを実行する HA ペアを形成します。

最終的に、両方の Cisco Nexus 1010 が新しいソフトウェア バージョンで HA ペアを構成したときに ISSU は完了します。

前提条件

ここに示す手順を開始する前に、次の点を理解または実行しておく必要があります。

- 「Cisco CIMC ソフトウェアのバージョンの確認」 (P.2-3) を使用して、次の製品 ID (PID) を所有していることを確認済みであること。

- N1K-C1010 (Cisco Nexus 1010 の場合)
- N1K-C1010-X (Cisco Nexus 1010-X の場合)



注意

Release 4.2(1)SP1(4) のインストールまたはアップグレードができるのは、Cisco Nexus 1010 の製品 ID (PID) が N1K-C1010 であるか、Cisco Nexus 1010-X の製品 ID (PID) が N1K-C1010-X である場合に限られます。

- Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1010-X の背面の CIMC/Serial over LAN ポートから CLI にログインしていること。



(注) この手順では管理 IP を使用してログインしないでください。この手順では、最初にスタンバイ Cisco Nexus 1010 をアップグレードしてリロードする必要があります。その後、HA ペアはソフトウェアバージョンの互換性がなくなります。Serial over LAN を使用してログインすることにより、この構成で発生するスプリット ブレインが回避されます。

- 外部サーバの実行コンフィギュレーションのバックアップ コピーをすでに保存していること。
- 新しい Cisco Nexus 1010 ソフトウェア ファイルのコピーを次の Cisco.com ソフトウェア ダウンロード サイトから外部サーバに保存済みであること。
www.cisco.com/go/1010download
- Cisco Integrated Management Controller (CIMC) ソフトウェア バージョン 1.2.1(b) 以降がインストールされていること。詳細については、「CIMC および BIOS 情報」(P.2-3) を参照してください。
- このバージョンの CIMC がインストール済みであることを確認する手順は、「Cisco CIMC ソフトウェアのバージョンの確認」(P.2-3) の手順を参照してください。詳細については、『*CIMC Firmware Management on UCS C-Series Servers*』を参照してください。
これよりも前のバージョンの CIMC がインストールされている場合は、アップグレードに失敗します。
- N1010 CIMC GUI を使用して、マニュアルの手順に従い CIMC と BIOS ファームウェアを個別に更新してください。詳細については、「CIMC および BIOS 情報」(P.2-3) を参照してください。

注意事項および制約事項

Cisco Nexus 1010 製品ファミリーのアップグレード時に以下のガイドラインおよび制約事項に従ってください。

- この手順で、アクティブおよびスタンバイ Cisco Nexus 1010 の両方がアップグレードされます。
- アップグレード中に新しいソフトウェア バージョンをリロードした後、新しいアップグレード コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーすることによって、リブートや再起動が行われてもコンフィギュレーションが永続的に保存されるようにする必要があります。次の手順には、このための作業が含まれています。
- ソフトウェアをアップグレードする唯一の方法は、**install nexus1010** コマンドを使用することです。
- ブート変数は、install コマンドの実行時にシステムによって設定されます。ブート変数を手動で設定することは絶対に避けてください。

ソフトウェア リリース 4.2(1)SP1(2) 以降からのアップグレード

稼動データと永続情報を保持しながら次の Cisco Nexus 1010 をアップグレードする手順を次に示します。

アップグレード前のソフトウェア バージョン	アップグレード後のソフトウェア バージョン
4.2(1)SP1(2)	4.2(1)SP1(4)
4.2(1)SP1(3)	



(注) 4.0(4) SP1(1) からアップグレードする場合は、「ソフトウェア リリース 4.0(4)SP1(1) からのアップグレード」(P.3-5) の手順を参照してください。



(注) VSB での Cisco Nexus 1000V ソフトウェアのアップグレードについては、『Cisco Nexus 1000V Software Upgrade Guide, Release 4.2(1)SV1(5.1)』を参照してください。

手順の詳細

- ステップ 1** Cisco Nexus 1010 Serial over LAN 接続で、未保存のコンフィギュレーションを実行コンフィギュレーションからスタートアップにコピーして、リロード後にコンフィギュレーションが保持されるようにします。

copy running-config startup-config

例：
 switch# **copy running-config startup-config**
 [#####] 100%
 switch#

- ステップ 2** 新しいソフトウェア イメージを外部サーバから次のディレクトリにコピーします。

bootflash: ¥repository

copy scp://user@path/filename bootflash:filename

例：
 n1010# **copy scp://user@linux-box.cisco.com/home/user/nexus-1010.4.2.1.SP1.1.4.iso**
bootflash:repository
 Enter vrf (If no input, current vrf 'default' is considered):
 user@linux-box.cisco.com's password:
 nexus-1010.4.2.1.SP1.4.iso 100% 258234 10.3KB/s 00:15
 n1010#

- ステップ 3** 新しいイメージをインストールします。

install nexus1010 full_path_to_filename

例：
 switch# **install nexus1010 bootflash:repository/nexus-1010.4.2.1.sp1.4.iso**

スイッチでは次のことが起こります。

- 新しいソフトウェア イメージが bootflash にコピーされ、スタンバイ Cisco Nexus 1010 がアップグレードされます。
- bootflash 変数が新しいシステムとキックスタート イメージの名前で更新されます。

■ ソフトウェア リリース 4.2(1)SP1(2) 以降からのアップグレード

- 新しいイメージと bootflash 変数の情報がスタートアップ コンフィギュレーションに保存されます。
- アクティブが新しいソフトウェア バージョンのスタンバイをリロードします。
- スタンバイが引き継ぎ、新しいバージョンのアクティブをリロードする前に、システムはすべての VSB が起動するのを待ちます。

ステップ 4 各モジュールの CLI から、両方のモジュールが HA モードであることを確認します。

show system redundancy status

例:

```
switch# show system redundancy status
Redundancy role
-----
      administrative:  primary
      operational:    primary
Redundancy mode
-----
      administrative:  HA
      operational:    None
This supervisor (sup-1)
-----
      Redundancy state:  Active
      Supervisor state:  Active
      Internal state:   Active with HA standby
Other supervisor (sup-2)
-----
      Redundancy state:  standby
      Supervisor state:  HA standby
      Internal state:   HA standby
switch#
-----
```

ステップ 5 新しいソフトウェアがロードされたことを確認します。

show module

```
switch# show module
Mod  Ports  Module-Type                Model          Status
---  ---
1    0      Cisco Nexus1010 Chassis  Nexus1010     active *
2    0      Cisco Nexus1010 Chassis  Nexus1010     ha-standby

Mod  Sw                Hw
---  ---
1    4.2(1)SP1(3)    0.0
2    4.2(1)SP1(3)    0.0

Mod  MAC-Address(es)                Serial-Num
---  ---
1    00-19-07-6c-5a-a8 to 00-19-07-6c-62-a8  NA
2    00-19-07-6c-5a-a8 to 00-19-07-6c-62-a8  NA

Mod  Server-IP          Server-UUID                Server-Name
---  ---
1    172.23.231.113    NA                          NA
2    172.23.231.113    NA                          NA

* this terminal session
switch#
```

- ステップ 6** 新しいアップグレード コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーすることによって、リブートや再起動が行われても実行コンフィギュレーションが永続的に保存されるようにします。

copy running-config startup-config

例:

```
switch# copy running-config startup-config
[#####] 100%
switch#
```

ソフトウェア リリース 4.0(4)SP1(1) からのアップグレード

稼動データと永続情報を保持しながら次の Cisco Nexus 1010 をアップグレードする手順を次に示します。

アップグレード前のソフトウェア バージョン	アップグレード後のソフトウェア バージョン
4.0(4)SP1(1)	4.2(1)SP1(4)



(注) 4.2(1)SP1(3) または 4.2(1) SP1(2) からのアップグレード方法については、「ソフトウェア リリース 4.2(1)SP1(2) 以降からのアップグレード」(P.3-3) の手順を参照してください。



(注) VSB での Cisco Nexus 1000V ソフトウェアのアップグレードについては、『Cisco Nexus 1000V Software Upgrade Guide, Release 4.2(1)SVI(5.1)』を参照してください。

はじめる前に

手順を開始する前に、次のことを確認または実行する必要があります。

- VSM が使用可能である状態を維持するには、ここで説明する手順に従って冗長 VSB モジュールを別々にリロードします。
- Serial over LAN 接続を使用して、プライマリとセカンダリの両方の Cisco Nexus 1010 に接続します。
- Cisco Nexus 1010 をアップグレードするには、セカンダリ側がアクティブである必要があります。プライマリ Cisco Nexus 1010 がアクティブである場合、セカンダリ Cisco Nexus 1010 をアクティブにするための手動によるスイッチオーバーを開始します。
- アップグレードプロセスを開始する前に、Cisco Nexus 1010 VSM と Cisco Nexus 1000V VSM ですべての設定を保存します。

手順の詳細

- ステップ 1** Cisco Nexus 1010 Serial over LAN 接続で、未保存のコンフィギュレーションを実行コンフィギュレーションからスタートアップにコピーして、リロード後にコンフィギュレーションが保持されるようにします。

copy running-config startup-config

例:

```
n1010# copy running-config startup-config
[#####] 100%
n1010#
```

ステップ 2 新しいソフトウェア イメージを外部サーバから次のディレクトリにコピーします。

```
bootflash: ¥repository
```

```
copy scp://user@path/filename bootflash:filename
```

例:

```
n1010# copy scp://user@linux-box.cisco.com/home/user/nexus-1010.4.2.1.SP1.1.4.iso
bootflash:repository
Enter vrf (If no input, current vrf 'default' is considered):
user@linux-box.cisco.com's password:
nexus-1010.4.2.1.SP1.1.4.iso      100% 258234 10.3KB/s  00:15
n1010#
```

ステップ 3 新しいイメージをインストールします。

```
install nexus1010 full_path_to_filename
```

スイッチでは次のことが起こります。

- 新しいソフトウェア イメージが bootflash にコピーされます。
- bootflash 変数が新しいシステムとキックスタート イメージの名前で更新されます。
- 新しいイメージと bootflash 変数の情報が実行コンフィギュレーションに保存されます。

例:

```
switch# install nexus1010 bootflash:repository/nexus-1010.4.2.1.SP1.1.4.iso
```

ステップ 4 スタートアップ コンフィギュレーションに新しいブート パラメータを保存します。

```
switch# copy running-config startup-config
[#####] 100%
```



注意

実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーしない場合、新しいブート パラメータは **ステップ 5** でソフトウェアをリロードしたときに保存されません。

ステップ 5 ソフトウェアをリロードしてソフトウェア イメージを新しいイメージ ファイルで更新します。セカンダリ Cisco Nexus 1010 がアクティブである場合、現在スタンバイ側であるプライマリ モジュールをリロードします。

```
reload module 1
```

例:

```
n1010# reload module1
his command will reboot standby supervisor module. (y/n)? [n] y
about to reset standby sup
n1010# 2012 Sep 12 00:14:58 switch %$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-PFM_MODULE_RESET: Manual
restart of Module 1 from Command Line Interface
2012 Sep 12 00:15:15 switch %$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_REMOVE: Module 1 removed (Serial
number T023D70E601)
n1010#
```

ステップ 6 module 1 が最新のソフトウェア バージョンで起動するまで待機します。module1 には最新のソフトウェア バージョンが導入されているため、そのまま最新のソフトウェア バージョンでアクティブとして表示されます。ソフトウェア バージョンが非互換のため、スタンバイとしては表示されません。

```
n1010# show virtual-service-blade summary
```

```
-----
Name                Role        State                Nexus1010-Module
-----
vsm                  SECONDARY  VSB POWERED ON      Nexus1010-SECONDARY
```

- ステップ 7** module 1 の CLI から前のソフトウェアバージョンが導入されている Cisco Nexus 1010 で VSM にログインし、手動によるスイッチオーバーを開始します。

```
n1010# login virtual-service-blade vsm
Telnet escape character is '$'.
Trying 127.1.0.18...
Connected to 127.1.0.18.
Escape character is '$'.

Nexus 1000v Switch
vsm login: admin
Password:
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2011, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

n1010# show system redundancy status
Redundancy role
-----
      administrative:  secondary
      operational:     secondary

Redundancy mode
-----
      administrative:  HA
      operational:     HA
This supervisor (sup-2)
-----
      Redundancy state:  Active
      Supervisor state:  Active
      Internal state:    Active with HA standby

Other supervisor (sup-1)
-----
      Redundancy state:  Standby
      Supervisor state:  HA standby
      Internal state:    HA standby

n1010#system switchover
```

- ステップ 8** \$ と入力すると Telnet プロンプトに戻ります。
- ステップ 9** すべての VSM で手動によるスイッチオーバーを開始します。
- ステップ 10** セカンダリ モジュールをリロードします。前のソフトウェアバージョンが導入されているアクティブ側の CLI で次のコマンドを入力します。

```
n1010#reload module 2

セカンダリ Cisco Nexus 1010 がリロードされ、プライマリ Cisco Nexus 1010 をスタンバイとして加入します。
```

- ステップ 11** 各モジュールの CLI から、両方の Cisco Nexus 1010 が HA モードであることを確認します。
- show system redundancy status**

```

例:
switch# show system redundancy status
Redundancy role
-----
      administrative:  primary
      operational:    primary
Redundancy mode
-----
      administrative:  HA
      operational:    None
This supervisor (sup-1)
-----
      Redundancy state:  Active
      Supervisor state:  Active
      Internal state:    Active with HA standby
Other supervisor (sup-2)
-----
      Redundancy state:  standby
      Supervisor state:  HA standby
      Internal state:    HA standby
switch#
-----

```

ステップ 12 新しいソフトウェアがロードされたことを確認します。

show module

```

switch# show module
Mod  Ports  Module-Type                Model                Status
---  ---
1    0      Cisco Nexus1010 Chassis  Nexus1010           active *
2    0      Cisco Nexus1010 Chassis  Nexus1010           ha-standby

Mod  Sw                Hw
---  ---
1    4.2(1)SP1(4)     0.0
2    4.2(1)SP1(4)     0.0

Mod  MAC-Address(es)                Serial-Num
---  ---
1    00-19-07-6c-5a-a8 to 00-19-07-6c-62-a8  NA
2    00-19-07-6c-5a-a8 to 00-19-07-6c-62-a8  NA

Mod  Server-IP          Server-UUID                Server-Name
---  ---
1    172.23.231.113    NA                          NA
2    172.23.231.113    NA                          NA

* this terminal session
switch#

```

ステップ 13 新しいアップグレード コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーすることによって、リブートや再起動が行われても実行コンフィギュレーションが永続的に保存されるようにします。

copy running-config startup-config

```

例:
n1000v# copy running-config startup-config
[#####] 100%
n1000v#

```

アップグレードの例

次はソフトウェア バージョン 4.2(1)SP1(3) から 4.2(1)SP1(4) へのアップグレードの例です。

```

cpa-mgr# install nexus1010 bootflash:repository/nexus-1010.4.2.1.SP1.4.iso
cpa_mgr debug: Using URI: bootflash:/repository/nexus-1010.4.2.1.SP1.4.iso
Installing bootflash:/repository/nexus-1010.4.2.1.SP1.4.iso
.....
Verifying image bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.4.bin for boot variable
"kickstart".
[[#####] 100% -- SUCCESS

Verifying image bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.4.bin for boot variable "system".
[[#####] 100% -- SUCCESS

Verifying image type.
[[[[#####] 100% -- SUCCESS

Extracting "system" version from image bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.4.bin.
[[#####] 100% -- SUCCESS

Extracting "kickstart" version from image
bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.4.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS
.....
Notifying services about system upgrade.                [#####]
100% -- SUCCESS
.
Compatibility check is done:
Module  bootable          Impact  Install-type  Reason
-----  -
      1      yes  non-disruptive      reset
      2      yes  non-disruptive      reset

Images will be upgraded according to following table:
Module      Image          Running-Version      New-Version      Upg-Required
-----  -
      1      system          4.2(1)SP1(3)        4.2(1)SP1(4)        yes
      1      kickstart       4.2(1)SP1(3)        4.2(1)SP1(4)        yes
      2      system          4.2(1)SP1(3)        4.2(1)SP1(4)        yes
      2      kickstart       4.2(1)SP1(3)        4.2(1)SP1(4)        yes
Module      Running-Version  ESX Version          VSM Compatibility  ESX Compatibility
-----  -
.....

Install is in progress, please wait.

Syncing image bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.4.bin to standby.
[[#####] 100% -- SUCCESS

Syncing image bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.4.bin to standby.
[######] 100% -- SUCCESS

Setting boot variables.
[# [#####] 100% -- SUCCESS

Performing configuration copy.
[[[[#####] 100% -- SUCCESS
.....2011 Jul 25 20:12:16 cpa-mgr %PLATFORM-2-MOD_REMOVE: Module 2
removed (Serial number T023D750981)
.....2011 Jul 25
20:14:54 cpa-mgr %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 2 detected (Serial number :unavailable)
Module-Type Virtual Supervisor Module Model :unavailable

```

```

.....
Module 2: Waiting for module online.
-- SUCCESS
.....
.....
Notifying services about the switchover.
[#####] 100% -- SUCCESS

"Switching over onto standby".
.
Broadcast message from root (console) (Mon Jul 25 20:20:41 2011):

The system is going down for reboot NOW!
INIT: Switching to runlevel: 6
INIT: Sending processes the TERM signal
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "sksd" (PID 2487) is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "Security Daemon" (PID 2499) is
forced exit.
Jul 25 20:20:41 %TTYD-2-TTYD_ERROR TTYD Error ttyd bad select
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "stp" (PID 2765) is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "fs-daemon"(PID2455)is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "Cert_enroll Daemon"(PID 2500)is
forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "netstack"(PID2557)is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "vdc_mgr"(PID 2484)is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "u6rib" (PID 2507) is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "res_mgr"(PID 2489)is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "licmgr" (PID 2454)is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "igmp" (PID 2771) is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "adjmgr" (PID 2537)is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "Radius Daemon"(PID 2634)is forced
exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "AAA Daemon"(PID 2501)is forced
exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "urib" (PID 2508) is forced exit.
Auto booting bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.4.bin bootflash:/n
exus-1010-mz.4.2.1.SP1.3.bin...
Booting kickstart image: bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.4.bin.
.....Image verification
OK

Starting kernel...
PCI: PIIX3: Enabling Passiv%H+Y4%
001-Usage: init 0123456SsQqAaBbCcUu
mkdir: cannot create directory `/new-root/old-root': File exists
INIT: version 2.85 booting
Bootflash device is /dev/hda
Checking all filesystems..... done.
Setting kernel variables: sysctlnet.ipv4.ip_forward = 0
net.ipv4.ip_default_ttl = 64
net.ipv4.ip_no_pmtu_disc = 1
.
/etc/rc.d/rcS.d/S35iptables: line 41: //iptables: No such file or directory
/etc/rc.d/rcS.d/S35iptables: line 44: //ip6tables: No such file or directory
Loading system software
Uncompressing system image: bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.4.bin

Load plugins that defined in image conf: /isan/plugin_img/img.conf
load_plugin: failed read swid map from "/mnt/pss/plugin_swid_map" with rc 0xffffffff.
Plugin will be assigned new ID
Loading plugin 0: core_plugin...
load_plugin: Can't get exclude list from /isan/plugin/0/boot/etc/plugin_exclude.conf (rc
0x40ea0017)

```

```
plugin_link_to_exec_path: plugin_path = /isan/plugin/0, tar_log =
/isan/plugin_extract_log/0
num srgs 1
0: swid-core-suplsfp, swid-core-suplsfp
num srgs 1
0: swid-suplsfp-ks, swid-suplsfp-ks
INIT: Entering runlevel: 3
Starting dhcpd daemon: dhcpdInternet Systems Consortium DHCP Server V3.0.1rc14
Copyright 2004 Internet Systems Consortium.
All rights reserved.
For info, please visit http://www.isc.org/sw/dhcp/
Wrote 0 deleted host decls to leases file.
Wrote 0 new dynamic host decls to leases file.
Wrote 0 leases to leases file.

Not configured to listen on any interfaces!
.
Exporting directories for NFS kernel daemon...done.
Starting NFS kernel daemon:rpc.nfsd.
rpc.mountddone.

/bin/mkdir: cannot create directory `/bootflash/repository': File exists
/isan/bin/mount_cpp_a_repository exist

Nexus 1010
cppa-mgr(standby) login: 2011 Jul 26 04:24:22 cppa-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: CLIS: loading
cmd files begin - clis
2011 Jul 26 04:24:29 cppa-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: CLIS: loading cmd files end - clis
2011 Jul 26 04:24:29 cppa-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: CLIS: init begin - clis
2011 Jul 26 04:24:38 cppa-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: Invalid feature name eth-port-sec - clis
Nexus 1010
cppa-mgr(standby) login: admin
Password:
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2012, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are owned by other third
parties and used and distributed under license. Certain components of this software are
licensed under the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU Lesser General
Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
cppa-mgr(standby)#

Inactive timeout reached, logging out.

Nexus 1010
cppa-mgr(standby) login:
(スタンバイ Cisco Nexus 1010 のアップグレードは、ここで開始します)。

Auto booting bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.4.bin
bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.4.bin...
Booting kickstart image: bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.4.bin.
.....Image verification
OK

Starting kernel...
PCI: PIIX3: Enabling Passive Veh+001-?Usage: init 0123456SsQqAaBbCcUu
mkdir: cannot create directory `/new-root/old-root': File exists
INIT: version 2.85 booting
Bootflash device is /dev/hda
Checking all filesystems...r.r.r done.
```

```

Setting kernel variables: sysctlnet.ipv4.ip_forward = 0
net.ipv4.ip_default_ttl = 64
net.ipv4.ip_no_pmtu_disc = 1
.
/etc/rc.d/rcS.d/S35iptables: line 41: //iptables: No such file or directory
/etc/rc.d/rcS.d/S35iptables: line 44: //ip6tables: No such file or directory
Loading system software
Uncompressing system image: bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.4.bin

Load plugins that defined in image conf: /isan/plugin_img/img.conf
load_plugin: failed read swid map from "/mnt/pss/plugin_swid_map" with rc 0xffffffff.
Plugin will be assigned new ID
Loading plugin 0: core_plugin...
load_plugin: Can't get exclude list from /isan/plugin/0/boot/etc/plugin_exclude.conf (rc
0x40ea0017)
plugin_link_to_exec_path: plugin_path = /isan/plugin/0, tar_log =
/isan/plugin_extract_log/0
num srgs 1
0: swid-core-suplsfp, swid-core-suplsfp
num srgs 1
0: swid-suplsfp-ks, swid-suplsfp-ks
INIT: Entering runlevel: 3
Starting dhcpd daemon: dhcpdInternet Systems Consortium DHCP Server V3.0.1rc14
Copyright 2004 Internet Systems Consortium.
All rights reserved.
For info, please visit http://www.isc.org/sw/dhcp/
Wrote 0 deleted host decls to leases file.
Wrote 0 new dynamic host decls to leases file.
Wrote 0 leases to leases file.

Not configured to listen on any interfaces!
.
Exporting directories for NFS kernel daemon...done.
Starting NFS kernel daemon:rpc.nfsd.
rpc.mountddone.

/bin/mkdir: cannot create directory `/bootflash/repository': File exists
/isan/bin/mount_cppa_repository exist

Continuing with installation, please wait
Trying to start the installer...
Trying to start the installer...
2012 May 26 09:30:15 cppa-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: CLIS: loading cmd files end - clis
2012 May 26 09:30:15 cppa-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: CLIS: init begin - clis
2012 May 26 09:30:32 cppa-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: Invalid feature name eth-port-sec - clis

Module 2: Waiting for module online.
-- SUCCESS
2011 Jul 25 20:20:41 cppa-mgr %SYSMGR-2-HASWITCHOVER_PRE_START: This supervisor is
becoming active (pre-start phase).
2011 Jul 25 20:20:41 cppa-mgr %SYSMGR-2-HASWITCHOVER_START: This supervisor is becoming
active.
2011 Jul 25 20:20:41 cppa-mgr %SYSMGR-2-SWITCHOVER_OVER: Switchover completed.
2011 Jul 25 20:20:58 cppa-mgr %PLATFORM-2-MOD_REMOVE: Module 1 removed (Serial number )

2011 Jul 25 20:24:21 cppa-mgr %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 1 detected (Serial number
:unavailable) Module-Type Virtual Supervisor Module Model :unavailable
Install has been successful.

Nexus 1010
cppa-mgr login: admin
Password:
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac

```

```
Copyright (c) 2002-2012, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are owned by other third
parties and used and distributed under license. Certain components of this software are
licensed under the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU Lesser General
Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
cpga-mgr# copy running-config startup-config
[#####] 100%
cpga-mgr#
```

次はソフトウェア バージョン 4.2(1)SP1(2) から 4.2(1)SP1(3) へのアップグレードの例です。

```
cpga-mgr# install nexus1010 bootflash:repository/nexus-1010.4.2.1.SP1.3.iso
cpga_mgr debug: Using URI: bootflash:/repository/nexus-1010.4.2.1.SP1.3.iso
Installing bootflash:/repository/nexus-1010.4.2.1.SP1.3.iso
.....
Verifying image bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.3.bin for boot variable
"kickstart".
[[#####] 100% -- SUCCESS

Verifying image bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.3.bin for boot variable "system".
[[#####] 100% -- SUCCESS

Verifying image type.
[[[[#####] 100% -- SUCCESS

Extracting "system" version from image bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.3.bin.
[[#####] 100% -- SUCCESS

Extracting "kickstart" version from image
bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.3.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS
.....
Notifying services about system upgrade. [#####]
100% -- SUCCESS
.
Compatibility check is done:
Module bootable Impact Install-type Reason
-----
1 yes non-disruptive reset
2 yes non-disruptive reset

Images will be upgraded according to following table:
Module Image Running-Version New-Version Upg-Required
-----
1 system 4.2(1)SP1(2) 4.2(1)SP1(3) yes
1 kickstart 4.2(1)SP1(2) 4.2(1)SP1(3) yes
2 system 4.2(1)SP1(2) 4.2(1)SP1(3) yes
2 kickstart 4.2(1)SP1(2) 4.2(1)SP1(3) yes
Module Running-Version ESX Version VSM Compatibility ESX Compatibility
-----
-----

Install is in progress, please wait.

Syncing image bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.3.bin to standby.
[[#####] 100% -- SUCCESS

Syncing image bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.3.bin to standby.
[######] 100% -- SUCCESS
```

```

Setting boot variables.
[# [#####] 100% -- SUCCESS

Performing configuration copy.
[[#####] 100% -- SUCCESS
.....2011 Jul 25 20:12:16 cppa-mgr %PLATFORM-2-MOD_REMOVE: Module 2
removed (Serial number T023D750981)
.....2011 Jul 25
20:14:54 cppa-mgr %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 2 detected (Serial number :unavailable)
Module-Type Virtual Supervisor Module Model :unavailable
.....
Module 2: Waiting for module online.
-- SUCCESS
.....
.....
Notifying services about the switchover.
[#####] 100% -- SUCCESS

"Switching over onto standby".
.
Broadcast message from root (console) (Mon Jul 25 20:20:41 2011):

The system is going down for reboot NOW!
INIT: Switching to runlevel: 6
INIT: Sending processes the TERM signal
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "skstd" (PID 2487) is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "Security Daemon" (PID 2499) is
forced exit.
Jul 25 20:20:41 %TTYD-2-TTYD_ERROR TTYD Error ttyd bad select
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "stp" (PID 2765) is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "fs-daemon"(PID2455)is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "Cert_enroll Daemon"(PID 2500)is
forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "netstack"(PID2557)is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "vdc_mgr"(PID 2484)is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "u6rib" (PID 2507) is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "res_mgr"(PID 2489)is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "licmgr" (PID 2454)is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "igmp" (PID 2771) is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "adjmgr" (PID 2537)is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "Radius Daemon"(PID 2634)is forced
exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "AAA Daemon"(PID 2501)is forced
exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "urib" (PID 2508) is forced exit.
Auto booting bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.3.bin bootflash:/n
exus-1010-mz.4.2.1.SP1.3.bin...
Booting kickstart image: bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.3.bin.
.....Image verification
OK

Starting kernel...
PCI: PIIX3: Enabling Passiv%H+Y4%
                                001-Usage: init 0123456SsQqAaBbCcUu
mkdir: cannot create directory `/new-root/old-root': File exists
INIT: version 2.85 booting
Bootflash device is /dev/hda
Checking all filesystems..... done.
Setting kernel variables: sysctlnet.ipv4.ip_forward = 0
net.ipv4.ip_default_ttl = 64
net.ipv4.ip_no_pmtu_disc = 1
.
/etc/rc.d/rcS.d/S35iptables: line 41: //iptables: No such file or directory
/etc/rc.d/rcS.d/S35iptables: line 44: //ip6tables: No such file or directory

```

```

Loading system software
Uncompressing system image: bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.3.bin

Load plugins that defined in image conf: /isan/plugin_img/img.conf
load_plugin: failed read swid map from "/mnt/pss/plugin_swid_map" with rc 0xffffffff.
Plugin will be assigned new ID
Loading plugin 0: core_plugin...
load_plugin: Can't get exclude list from /isan/plugin/0/boot/etc/plugin_exclude.conf (rc
0x40ea0017)
plugin_link_to_exec_path: plugin_path = /isan/plugin/0, tar_log =
/isan/plugin_extract_log/0
num srgs 1
0: swid-core-suplsfp, swid-core-suplsfp
num srgs 1
0: swid-suplsfp-ks, swid-suplsfp-ks
INIT: Entering runlevel: 3
Starting dhcpd daemon: dhcpdInternet Systems Consortium DHCP Server V3.0.1rc14
Copyright 2004 Internet Systems Consortium.
All rights reserved.
For info, please visit http://www.isc.org/sw/dhcp/
Wrote 0 deleted host decls to leases file.
Wrote 0 new dynamic host decls to leases file.
Wrote 0 leases to leases file.

Not configured to listen on any interfaces!
.
Exporting directories for NFS kernel daemon...done.
Starting NFS kernel daemon:rpc.nfsd.
rpc.mountddone.

/bin/mkdir: cannot create directory `/bootflash/repository': File exists
/isan/bin/mount_cpparepository exist

Nexus 1010
cpga-mgr(standby) login: 2011 Jul 26 04:24:22 cpga-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: CLIS: loading
cmd files begin - clis
2011 Jul 26 04:24:29 cpga-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: CLIS: loading cmd files end - clis
2011 Jul 26 04:24:29 cpga-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: CLIS: init begin - clis
2011 Jul 26 04:24:38 cpga-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: Invalid feature name eth-port-sec - clis
Nexus 1010
cpga-mgr(standby) login: admin
Password:
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2011, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are owned by other third
parties and used and distributed under license. Certain components of this software are
licensed under the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU Lesser General
Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
cpga-mgr(standby)#

Inactive timeout reached, logging out.

Nexus 1010
cpga-mgr(standby) login:
(スタンバイ Cisco Nexus 1010 のアップグレードは、ここで開始します)。
Auto booting bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.3.bin
bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.3.bin...
Booting kickstart image: bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.3.bin.
.....Image verification

```

```

OK

Starting kernel...
PCI: PIIX3: Enabling Passive Veh+001-?Usage: init 0123456SsQqAaBbCcUu
mkdir: cannot create directory `/new-root/old-root': File exists
INIT: version 2.85 booting
Bootflash device is /dev/hda
Checking all filesystems...r.r.r done.

Setting kernel variables: sysctlnet.ipv4.ip_forward = 0
net.ipv4.ip_default_ttl = 64
net.ipv4.ip_no_pmtu_disc = 1
.
/etc/rc.d/rcS.d/S35iptables: line 41: //iptables: No such file or directory
/etc/rc.d/rcS.d/S35ip6tables: line 44: //ip6tables: No such file or directory
Loading system software
Uncompressing system image: bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.3.bin

Load plugins that defined in image conf: /isan/plugin_img/img.conf
load_plugin: failed read swid map from "/mnt/pss/plugin_swid_map" with rc 0xffffffff.
Plugin will be assigned new ID
Loading plugin 0: core_plugin...
load_plugin: Can't get exclude list from /isan/plugin/0/boot/etc/plugin_exclude.conf (rc
0x40ea0017)
plugin_link_to_exec_path: plugin_path = /isan/plugin/0, tar_log =
/isan/plugin_extract_log/0
num srgs 1
0: swid-core-suplsfp, swid-core-suplsfp
num srgs 1
0: swid-suplsfp-ks, swid-suplsfp-ks
INIT: Entering runlevel: 3
Starting dhcpd daemon: dhcpdInternet Systems Consortium DHCP Server V3.0.1rc14
Copyright 2004 Internet Systems Consortium.
All rights reserved.
For info, please visit http://www.isc.org/sw/dhcp/
Wrote 0 deleted host decls to leases file.
Wrote 0 new dynamic host decls to leases file.
Wrote 0 leases to leases file.

Not configured to listen on any interfaces!
.
Exporting directories for NFS kernel daemon...done.
Starting NFS kernel daemon:rpc.nfsd.
rpc.mountddone.

/bin/mkdir: cannot create directory `/bootflash/repository': File exists
/isan/bin/mount_cpparepository exist

Continuing with installation, please wait
Trying to start the installer...
Trying to start the installer...
2012 May 26 09:30:15 cppa-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: CLIS: loading cmd files end - clis
2012 May 26 09:30:15 cppa-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: CLIS: init begin - clis
2012 May 26 09:30:32 cppa-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: Invalid feature name eth-port-sec - clis

Module 2: Waiting for module online.
-- SUCCESS
2011 Jul 25 20:20:41 cppa-mgr %SYSMGR-2-HASWITCHOVER_PRE_START: This supervisor is
becoming active (pre-start phase).
2011 Jul 25 20:20:41 cppa-mgr %SYSMGR-2-HASWITCHOVER_START: This supervisor is becoming
active.
2011 Jul 25 20:20:41 cppa-mgr %SYSMGR-2-SWITCHOVER_OVER: Switchover completed.
2011 Jul 25 20:20:58 cppa-mgr %PLATFORM-2-MOD_REMOVE: Module 1 removed (Serial number )

```

```
2011 Jul 25 20:24:21 cppa-mgr %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 1 detected (Serial number
:unavailable) Module-Type Virtual Supervisor Module Model :unavailable
Install has been successful.

Nexus 1010
cppa-mgr login: admin
Password:
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2011, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are owned by other third
parties and used and distributed under license. Certain components of this software are
licensed under the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU Lesser General
Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
cppa-mgr# copy running-config startup-config
[#####] 100%
cppa-mgr#
```

ソフトウェア アップグレードの機能の履歴

ここでは、ソフトウェア インストールおよびアップグレードのリリース履歴について説明します。

機能名	リリース	機能情報
ソフトウェア アップグレード	4.2(1)SP1(2)	この機能が導入されました。



INDEX

C

CIMC

概要 [1-1](#)

Cisco Nexus 1010 の交換 [2-23](#)

CLI プロンプト、アプライアンスの [2-14](#)

H

HA

冗長状態 [2-7](#)

冗長ロール [2-6](#)

M

mgmt0

CLI セットアップ [2-14](#)

N

NTP

CLI セットアップ [2-14](#)

S

SSH

CLI セットアップ [2-14](#)

T

Telnet

CLI セットアップ [2-14](#)

V

VLAN

アップリンク ポートの割り当て [2-9](#)

概要 [2-9](#)

あ

アップリンク

CLI 設定 [2-17](#)

ポートと VLAN の割り当て [2-9](#)

アプライアンス名

CLI 設定 [2-14](#)

か

確認

管理ソフトウェア設定 [2-19](#)

管理 VLAN

CLI 設定 [2-12, 2-18](#)

概要 [2-9](#)

管理ソフトウェア

設定の確認 [2-19](#)

関連資料 [vii, viii](#)

き

強力なパスワード [2-6](#)

こ

コントロール VLAN とパケット VLAN

CLI セットアップ [2-11, 2-17](#)

し

冗長

状態 [2-7](#)

ルール [2-6](#)

せ

制御およびパケット VLAN

概要 [2-9](#)

た

対象読者 [v](#)

て

デフォルト ゲートウェイ

CLI セットアップ [2-14](#)

な

名前、アプライアンスの [2-14](#)

は

パスワード強度 [2-6](#)

ひ

表記法 [vi](#)

ふ

フロー チャート

Cisco Nexus 1010 の交換 [2-25](#)

プロンプト、CLI [2-14](#)

ほ

ポート、アップリンク [2-9](#)

ま

マニュアル

関連資料 [vi](#)

追加資料 [vii](#)
